

## 令和6年度第2回山城教科用図書採択地区協議会 議事録

1 日 時 令和6年7月31日（水）午前9時30分～午後4時40分

2 場 所 宇治市中央公民館 展示集会室

3 出席者数 20名

### 4 協議事項

- (1) 令和7年度以降使用中学校教科用図書の採択協議について
- (2) その他

### 5 会議資料

- (1) 資料集
- (2) 教科書展示における意見集約表
- (3) 中学校教科用図書調査報告書
- (4) 令和7年度以降使用 中学校教科用図書選定資料

### 6 議事内容

#### 【開会】

○事務局 ただいまから令和6年度第2回山城教科用図書採択地区協議会を開催いたします。

開会に当たりまして、木上会長より御挨拶をお願いいたします。

#### ○会長

皆様、おはようございます。会長を務めさせていただいております木上でございます。

まず、今回の第2回の山城地区教科用図書採択地区協議会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げたいと思います。

この採択地区協議会の趣旨なり観点などお話をさせていただきまして、御挨拶とさせていただきますというふうに考えております。

まず、今年度につきましては、令和7年度から中学校におきまして使用する教科用図書を採択する年ということでありまして、教科用図書の採択権者としての責任を果たしていく必要があるというふうに考えております。

この教科用図書は、平成26年4月に教科書無償措置法の改正が行われまして、共同採択地区における市町村教育委員会の協議の方法に関する規定が整備されたところでありまして、今回、その規定に基づきまして、山城地区におきます種目ごとに同一の教科書を採

択するための協議を行っていただくということで考えております。

既にこの採択地区協議会では、先に調査員の先生方を委嘱しまして、この間、調査研究を精力的に行っていたところでありまして、後ほど代表調査員の方から調査研究の報告をしていただくことになってございますけれども、そういった報告を踏まえまして、皆さんで御協議いただくこととしております。

今回の採択につきましては、山城地域の課題などを踏まえながら、教科用図書として、次のような観点を踏まえて協議いただき選定していきたいと考えております。

まず、1点目ですけれども、山城地区におきましては、学力向上ということが非常に大きな課題の一つであると考えておりまして、特に児童生徒が主体的に学習に取り組める工夫や、児童生徒の思考力、判断力、表現力の育成を図るための配慮等があるかなど、学力向上の視点がやはり必要かと考えています。

2点目は、教育を取り巻く多様な価値観がある中で、公教育として、多種多様な意見がより反映されているか、公平性が担保されているかという視点でございます。

3点目は、管内の教員の若年化に伴いまして、授業の質を担保するという上で、若手教員でも授業で使いやすいかどうかという視点。

最後、4点目ですけれども、児童生徒が親しみやすく、使いやすく、そして主体的・対話的に学習に取り組むことができるかどうかの視点、こうした4点の視点を考えているところであります。

また、採択でありますけれども、採択地区協議会規約に基づきまして、全員一致を原則としており、挙手によりまして議決を行うこととしております。ただ、挙手による議決が全員一致にならない場合は、投票で過半数を得た教科用図書を選定することとしておりまして、1回目で過半数を得た教科用図書がない場合には、最多数の投票を得た2種類の教科用図書で投票を行って、多数を得た教科用図書を選定するというように考えています。ただし、同数の場合は協議の経過を勘案しながら、会長が決定するというルールを進めてまいりたいと思います。

今回、山城地区の子どもたちにとりまして、最も適切な教科用図書を採択するために、全ての市町、広域連合が同一の議決になりますよう、十分に議論を尽くしてまいりたいと考えておりますので、今日は一日長くなりますけれども、どうかよろしく願いいたします。

## ○事務局

議事に入ります前に、本日の出席状況につきまして御報告をさせていただきます。

本日は、20名の定数に対し、20名全員の出席を得ております。会議の運営を規定した規約第9条第1項の規定、委員の過半数の出席という条件を満たしておりますことを、ここに御報告させていただきます。

それでは、ただいまから議事に入りますが、規約第9条第2項により、会長に議事の進行をお願いしたいと存じます。

木上会長、よろしくお願いいたします。

## ○会長

それでは、早速議事を進めさせていただきます。

まず、協議に入る前に、4月18日の第1回採択地区協議会以降の動きや、本日の日程等につきまして、事務局から説明をよろしくお願いいたします。

## ○事務局

では、第1回採択地区協議会以降、本日までの動きについて御説明いたします。

資料集10ページをお願いいたします。今年度の教科用図書採択事務の日程でございますが、4月18日に、採択委員であります教育長にお集まりいただき、第1回地区協議会を開催いたしました。その後、採択委員、調査員合同会議を5月13日に、その後、11ページ、12ページに記載をしております日程で、教科ごとに調査員会議を開催いたしまして、調査研究を進め、本日、調査結果の報告に至ることを御報告申し上げます。

また、同時に、各市町、広域連合におきまして、教科書の見本展示、巡回展示を行っていただいております。各市町、広域連合で住民の方からいただきました御意見等につきましては、本日配付資料の別冊1の意見集約書にまとめてございます。本日は、当採択地区協議会から委嘱をされた調査員による調査研究の報告を受けまして、山城地区の中学校において、来年度から使用する教科用図書の採択について御協議をいただきます。

資料集15ページでございます。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第12条に基づきまして、17ページのとおり、山城地域は山城地区として採択地区が設定をされています。資料集15ページでございますが、同法第13条第4項では、採択地区内の市町村の教育委員会は、協議により規約を定め、協議会を設けなければならないとし、同条第5項では、当該採択地区協議会の協議の結果に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならないと規定されています。

当採択地区協議会は、山城地区におきまして同一の教科用図書を採択するための無償措置法上の法定協議会として組織されたものでございます。本日の協議結果につきましては、各市町、広域連合教育委員会の教育長宛てに、後日、通知いたします。

資料別冊1の教科書展示における意見集約表でございますけれども、教科書を一堂に集めて展示する法定展示会が、山城地区におきましては6月14日から7月3日まで、山城教育局にございます教科書センターと八幡市民図書館で開催されるとともに、これらと並行いたしまして、各市町、広域連合において、6月3日から7月2日まで、教科書の巡回展示を順次実施していただき、ここで寄せられた意見を取りまとめたものでございます。

法定展示の閲覧者が33名、うち意見書の提出が28名、巡回展示におきましては、閲覧者149名、うち意見書提出が111名でございました。各市町、広域連合教育委員会におかれましては、8月31日までに教科書採択の議決をしていただくこととなりますが、教科書展示における意見につきましても、採択の議決に当たり御参考に活用していただければと思います。以上でございます。

## ○会長

それでは、令和7年度以降に山城地区の中学校で使用する教科用図書について、協議に移りたいと思います。

協議につきましては、調査報告及び教科書選定の協議が議題に含まれております。これまでの教科用図書の採択会議では、率直な意見が交換できる静ひつな環境を確保するために非公開とされております。採択地区協議会に係る申立て事項に、協議会の会議は静ひつな採択環境を確保する観点から、非公開とすることができるとされております。よりまして、本日の協議を公開にするか非公開にするかにつきまして、皆さんの御意見をお伺いしたいと思います。御発言いただきたく、よろしくお願ひしたいと思います。

## ○採択委員

よろしいですか。

## ○会長

はい。

## ○採択委員

非公開でお願いします。

## ○会長

よろしいでしょうか。

それでは、本協議会規約第9条第3項の規定によりまして、決を採りたいと思います。本日の協議会は、非公開とすることに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

## ○会長

挙手全員であります。よりまして、本日の教科用図書採択に係る協議につきましては、非公開として取り扱うことといたします。

それでは、中学校教科用図書の採択協議に入りたいと思います。

初めに、事務局から説明をお願いします。

## ○事務局

この後、教科ごとに順次、代表調査員から10分程度、調査研究の報告をしていただきます。この報告は、お手元に配付しております別冊2調査報告書により行っていただきます。

また、国語と書写、地理と地図、音楽と器楽については、まとめて行ってまいります。

なお、調査報告書は、京都府教育委員会教育長より、令和6年4月25日付けで通知がありました「令和7年度使用中学校・義務教育諸学校後期課程、特別支援学級及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択基準及び基本観点について」を踏まえ、調査研究が行われたものでございます。

代表調査員からは、全ての発行者について調査研究の結果を御報告いただきますが、調査報告書につきましては、各発行者の優劣をつけることが目的ではなく、努めて各発行者

の特徴を記入していただくようお願いをしております。

代表調査員の報告が終わりましたら、委員の皆様には、自由に御質問していただきます。その後、代表調査員には退席いただき、採択委員のみで御協議いただき、1種類の教科書を選んでいただきます。

代表調査員には、その間、待機していただいております、御協議の際に再質問等がございましたら、再度入室をしていただくこととなります。

それでは、採択手続に関する規定について、御報告させていただきます。

協議のまとめとしまして、本協議会規約に基づき、挙手により議決を行います。挙手による議決が全員の一致にならない場合には、投票で過半数を得た教科用図書を選定してまいります。過半数を得た教科用図書がない場合には、最多数の投票を得ました2種類の教科用図書につきまして再度投票し、多数を得た教科用図書を選定してまいります。得票数が同数の場合には、協議の経過も踏まえ、会長が決定するという規定となっております。

以上のとおり、教科ごとに代表調査員の報告、それから、採択委員による協議、共同採択によりまして、教科用図書の決定を繰り返し行ってまいります。以上でございます。

#### ○会長

ただいまの説明について、何か御質問、御意見等ありますでしょうか。

質問等ないようですので、協議に移らせていただきたいと思います。

それでは、最初に、社会・歴史の教科用図書の採択を行います。社会・歴史の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

#### ○会長

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめ、御尽力いただきましてありがとうございます。

それでは、調査研究の結果について、報告をお願いいたします。

#### ○代表調査員

まず、全体的なことにつきましては、教科及び歴史的な分野の目標に従って、我が国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、時代を大観させながら理解させる工夫をしているということについては、今回、調査をさせていただきました9教科書全てについて言えることです。

また、学習指導要領に示されていない内容を扱っているということは、特にございませるので、申し添えておきます。

それでは、まず、東京書籍から順に御報告をさせていただきますと思います。

東京書籍の教科書につきまして、特徴的なところは、探求課題と称した単元を貫く問いを設定し、各節のステップと相まって、何をどのように学ばよいかということが分かりやすく書かれております。

また、二次元コードが様々なところに示されておまして、そこからウェブコンテンツ

にアクセスできるようになっております。特にこのデジタル教材については、15種類の内容で380コンテンツ、それから各ページの見開き導入部の定位置に配置されておりまして、よりデジタルコンテンツにアクセスしやすいようになっているところが特徴的ではないかと思えます。

それでは、続きまして、教育出版に参ります。この教育出版の教科書につきましては、歴史的な見方や考え方の説明が詳しく載せられております。基礎基本の確実な定着と、自ら考察できる構成で主体的に学習を進めやすくなっていると感じました。

また、資料や写真が非常に豊富になっておりまして、視覚的に基礎的、基本的な知識及び技能の習得がしやすいように工夫されております。

また、小学校での既習事項について、詳しく触れることで、小学校と中学校の関連性も表記されているという教科書でございました。

では、続きまして、帝国書院に参ります。帝国書院につきましては、ウェブコンテンツが充実しておりますが、その中でも「タイムトラベル」という項目が随所にございまして、各時代を視覚的にイメージしやすいような工夫をしております。

また、各章の初めに、学習する時代の見通しを持たせて、章末で見通しを振り返らせることで、生徒が何をどのように学ばよいかという配慮が施されております。

また、カラー資料も豊富になっておりまして、学習者が学習内容を理解しやすいように工夫がなされております。

では、続きまして、山川出版社に参ります。山川出版社につきましては、特徴といたしましては、高校の学習につなげやすい構成になっております。各タイトルには、導入における発問、各資料を活用した問い、そしてステップアップ課題が設定され、常に項目について考えさせる配慮がなされております。

また、比較的本文の分量が多めでございます。豊富な文字情報を基に、より具体的で深い知識の習得ができるような工夫がされております。また、各時代の世界を大観させる地図が設けられておりまして、日本を含めた世界全体の歴史を意識させるというような工夫がされております。

では、続きまして、日本文教出版に参ります。日本文教出版につきましては、章の初めに、どのような学習を行うのかということを考えさせてから、単元を貫く問いを設定しております。そして、設定されている学習課題に対して、歴史的な見方や考え方が明記されておりますので、より課題に迫りやすくなっております。

また、単元を貫く問いに迫るための学習課題をどのような視点で考えていくのか、具体的には時系列なのか、推移なのか、比較なのか、つながりなのかという4つの視点が示されておりますので、それを基に学習者が課題に迫ることができるという工夫がなされております。

では、続きまして、自由社に参ります。自由社につきましては、年表を小単位ごとに配置しておりまして、学習内容と関連づけた表記になっております。そして、振り返りの構

成がしっかりしておりまして、調べ学習や復習問題、時代の象徴を考えるページ、対話とまとめ図など、主体的な学習へ向かう工夫がされております。イラストなども多用されておりますので、当時の生活が、よりイメージしやすいような工夫がされております。単元末では導入を振り返って、関連づけ、年表や図でまとめるような工夫もされております。

では、続きまして、育鵬社に参ります。育鵬社につきましては、巻頭で学び方について丁寧に解説をされております。そして、単元を貫く問いを設定するとともに、小單元ごとに学習課題を設定して、学習者が何をどのように学習すべきかということが示されております。

また、歴史絵巻を用いることで、時代の流れを大観できるような工夫がされております。年表が多く掲載されておりますので、学習者が、今、どの時代を学習しているのか、大きな時代の流れの中のどの位置なのかということが把握できるような工夫がされております。

続きまして、学び舎に参ります。学び舎につきましては、各時代に生きている人間が、どのように歴史を歩んできたかということに重点を置いた教科書でございます。各単元のタイトルの工夫や取り扱う人物の豊富さなど、主体的に学習に向かう構成がしっかりしています。まとめでは、自分の言葉で時代の特色を表現することにより、時代を大観できる工夫がなされております。

基本的に、見開き2ページで構成されておりまして、章の初めに単元を貫く問いが設定され、章末に、それに基づく振り返りのコーナーが設定されております。

最後になりますが、令和書籍に参ります。令和書籍につきましては、巻末資料として文化資料を数多く掲載しております。生徒が興味、関心を持ちやすくなっているというところ です。

それから、近現代史については、より丁寧に分量を割いて記述をしており、あるいは日本古来の文化、「古事記」、「日本書紀」などについての記述が充実しております。

また、文献資料が随所に差し込んでございまして、資料に基づいた科学的な思考を模索させようとしてございまして、これらのことにより思考力、判断力、表現力などの育成を図ろうとしております。

簡単ではございますが、以上です。

## ○会長

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告につきまして、何か御質問等ございませんでしょうか。

## ○採択委員

9社と非常に多いので、現在使われている帝国書院を基軸に置いて比較検討を重点的にされた会社は幾つかあるかと思いますが、どの会社ですか。

## ○代表調査員

主に東京書籍と比較しております。

## ○採択委員

分かりました。

令和2年、4年前になりますが、それまで結構長く東京書籍の教科書を現場では使っておられました。そうした中で、帝国書院に変更になったわけですが、この帝国書院は、一般的には地図の評価が非常に高く、いわゆる地図帳を作っている会社というイメージを我々ずっと持っておりましたが、そのときの調査員から、日本の歴史と世界の歴史、双方をうまく理解するには、地理の観点、地歴の視点が必要ということをおられたと記憶しております。そうして変更して、今、ちょうど3年と1学期が過ぎたわけですが、実際に現場で使用していただいて、特に地図や資料、イラストなどに少し目線を置いて、その取扱いの観点から、現状の帝国書院の評価をお聞かせ願いたいと思います。

#### ○代表調査員

現在使用しております帝国書院の教科書につきましては、地図との関連性もさることながら、やはり随所に差し込まれたイラストが非常に充実しております。最近の子どもたちは、文字情報だけではなく、画像から情報を得て学びを進めていくというタイプの子たちが多いので、映像や画像を充実した教科書が、現在、子どもたちには合っている部分がございます。現場の教員からも比較的高い評価、使いやすい教科書ということで聞いております。

#### ○採択委員

ありがとうございます。

#### ○会長

よろしいですか。

#### ○採択委員

今、帝国書院に前回から、替わった、その現場の様子を報告していただきました。

私も前回、帝国書院に替わったときに、帝国書院が、地歴の総合、それから高校では歴史総合、地理総合という総合的な観点が要求されておりますので、中学時代から単純に分野だけではなくて、分野にまたがる事柄を学習するには帝国書院がよかったというふうに思いまして、前回は賛成しましたが、今回も、そういう意味ではいいのかなと思います。

1点質問です。日本文教出版で、単元を貫く問いがあって、歴史的な思考力として時系列、推移、比較、つながりという、これは歴史研究的な観点からいうと非常にいい観点ですが、そういう観点を帝国書院と比べたときに、何か違いがありましたでしょうか。

#### ○代表調査員

全体的なところについては、特に大きな違いはございませんでした。日本文教出版は、明確にそれぞれ時系列というふうな銘を打って項目を設定されているとか、あるいは推移というふうに銘を打って、その辺が明確に分けられているところが少し違う点かなと思います。

#### ○採択委員

社会科の歴史は、特に人権的な視点がすごく大事で、人権教育という教科はありません

ので、各教科領域にわたって人権を尊重するような教育と学習指導要領にもうたわれており、特に社会科の歴史においては、その点が非常に重要であると考えておりますが、どのように配慮されたのか、どのような観点で考えられたのか。昨今、人権に対する問題が非常に重要視される中で、こうしたことをどのように取り扱われたのかということをお聞きしたいです。

#### ○代表調査員

我々が今回、調査に当たりました、やはり人権についての調査については、外すことはできないと考えており、細かく見させていただきました。

どの教科書につきましても、人権についての取扱い、例えば室町時代のことでありますとか、あるいは江戸時代のことでありますとか、あるいは明治に入ってから解放令の動きということについては、多少の差異はございますが、一定取扱いをされていると考えております。

#### ○採択委員

一定取扱いをされているのは、もちろん分かるわけですが、その差異が大事で、その辺りをどのように評価されたのか、違いがあると思われまますので、お聞きしたいです。

#### ○代表調査員

例えば山川出版社につきましては、やはり人権の取扱いについては、他社に比べると多少少ないのかなと感じられました。また、学び舎につきましては、人間に焦点を当てた記述が非常に多くございましたので、人権についても多く取り扱っていたのではないかなと思います。その他の教科書につきましては、先ほど申しあげました室町のことでありますとか、江戸時代、明治時代、あるいは大正時代というところについては、満遍なく取扱いがされているのではないかなと思います。

#### ○会長

他に質問ございませんでしょうか。

#### ○採択委員

先ほど、会長の御挨拶の中で4つの視点ということで、2つ目に多様な観点から見て、公平性が大事だというお話がありましたが、その点から見ると、教科書を比較されて、いかがだったか、説明をお願いしたいと思います。

各視点に基づいて、いろいろな物事の見方があると思います。そういう様々な視点について、歴史を学ぶ意味として、過去から学ぶということもあると思いますが、多様な視点について、どのように取り扱ったらよいのかということを考えさせるような視点というか、そういうものかなと思います。

#### ○代表調査員

これにつきましては、どの教科書につきましても、様々な視点で学習するような工夫がされていると考えております。

#### ○採択委員

先ほどの人権の質問もですし、今の公平性の質問もですが、取扱いはそれぞれ一定の基準を満たしているというのは重々分かるけれども、先生方にとって、指導しやすいか、教えやすいか、そういった観点でどの教科書がふさわしいかという質問をしたいと思いますが、どうでしょうか。

どの教科書が教えやすい、指導しやすい、子どもの理解によりつながっていく、そういう観点で使うとすれば、どの教科書が適しているかという内容です。

#### ○代表調査員

調査員としては、帝国書院の教科書が使いやすいと考えました。

#### ○会長

他、御質問はありませんでしょうか。

#### ○採択委員

授業において、生徒の興味、関心を高め、また知識、技能、思考力を高めるために、イラスト、写真はすごく重要だと思います。先ほど、帝国書院で、イラストや写真が非常にいいと報告があったと思いますが、何か特徴的なものがあれば、ちょっと教えていただいていいですか。

#### ○代表調査員

帝国書院につきましては、時代の一場面を見開き2ページで示す場面が幾つかございますので、導入のところでそれを見て子どもたちに考えさせて、その時代の特徴なりを、より鮮明に見させることが可能ではないかなと考えます。

#### ○会長

他、御質問ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

では、ここで代表調査員には一旦御退席いただきまして、また必要があれば、再度入室いただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。それでは、退室お願ひします。

(代表調査員 退室)

#### ○会長

それでは、歴史につきまして協議をさせていただきたいと思います。御意見を願ひいたします。

#### ○採択委員

今回、学習指導要領の改訂は伴っていない、いわゆるマイナーチェンジの状況で、今、調査員の話聞いておりますと、帝国書院が、指導しやすいという、そういった意見であったと思いますので、そこで御審議いただければというふうに思います。

#### ○会長

帝国書院ということで御意見がありました、何か御意見はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

特に他の御意見はないようですので、歴史につきましては、帝国書院でどうかという御意見でありましたので、帝国書院でお諮りしたいと思います、よろしいでしょうか。

それでは、中学、歴史につきましては、帝国書院を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

#### ○会長

それでは、全員一致ということで御賛同いただきましたので、歴史につきましては、帝国書院を山城地区として共同採択するものといたします。

続きまして、国語・書写につきまして説明をお願いしたいと思います。

(代表調査員 入室)

#### ○会長

代表調査員の先生におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力いただきましてありがとうございます。

それでは、調査研究の結果につきまして、報告をよろしくをお願いいたします。

#### ○代表調査員

よい点の特徴ですけれども、まず1番目、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮というところですか。どの教科書も言葉の力をメインに国語の教科書を作られているということですので、そこに焦点を当てて考えました。その中で、光村図書は、言葉を丁寧に多角的に生徒が考えられるというところに焦点を当てられており、それと、「思考の地図」という道しるべのようなものが、テーマの考えを広めるときには有効だというふうに考えました。

「言葉の力の育成」、「言葉に立ち止まる」、「言葉と向き合う」、「言葉とともに」という教材を用意しておりますが、光村図書に関しましては、これを学年ごとに単元で章立ちをされて深められているかなと思いました。

その次、思考力、判断力ですけれども、光村図書の場合、「学びのカギ」、「学びへの扉」というものを冒頭の見開きのところに設置されております。そこではポイントが示されています。1年のまとめとして、話す、聞く、書くを併せて単元も配置されているというところがポイントかなと思います。

また、「言葉のポケット」には思考や分析を深めるための話し方や表現が示されており、自分が伝えたいことに適した表現を探す支援になる役割が期待されています。

さらに、新教材というところに注目しましたがけれども、いろいろ個別に応じた授業展開、それからICTを深く活用するならば、新しい教材で、また新たに教職員が、自分の力量も深めていく必要があるのではないかなと思っております。光村図書に関しては他社と比べ最多の21の新教材を導入されているので、今後、それを深めていけたらと感じました。

その次ですが、主体的・対話的というところですが、書くことや話すこと、聞くこと、単元で学習活動の流れが詳細に示されているかなと思っております。見通しを持つというような形で、1年間の学習と、身につける資質能力とを、やはり焦点は当たっているかなとは思っております。

既習の事項を確かめて、次の学習に生かしているというような部分は強調されているかなと思っております。

学習指導要領に示していない内容の取扱いですけれども、文法事項等は、説明や例が詳しく書かれており、教材の読解にはつながっていくかなと思ってます。

また、教材に関連した資料を領域別にまとめているというのも特徴の一つではないかなと思ってます。

他教科等との関連ですけれども、各教科、1つずつSDGsの単元が用意をされています。今日的な諸課題を自分の問題として幅広く取り上げ、学習の見通しを持とうというような関連を明記されていました。

表現の工夫ですが、特別支援教育、ユニバーサルデザインの観点から、教科書全体にわたって専門家の校閲を受けているというところも特徴として捉えさせていただきました。以上です。

#### ○会長

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告につきまして、御質問等お願いいたします。

#### ○採択委員

今、光村図書を中心に説明いただいたようですけれども、他の3社についても一通り説明いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

#### ○代表調査員

東京書籍並びに三省堂、教育出版と、言葉の力を強調されて取り上げられているのが三省堂、光村図書と捉えさせていただいています。それと、基本的な部分に関しましては、教育出版は、特徴としては、文法事項にかなり多くの部分を取り上げられています。他社は、今、ICTの関係で、いろいろなコンテンツも用意されていますので、その部分でいうならば、教育出版の部分での特徴も兼ね備えているかなと思っております。全体的に4社比べさせていただいたところ、全体的な流れに関しましては、「言葉のポケット」というように、生徒に対しての今後の流れの説明に関しましては、東京書籍、三省堂、光村図書のほうが分かりやすく記述されているのではないかと思います。

教育出版に関しましては、SDGs等がありますが、それに関しては他社も十分コンテンツを用意されていると思っております。

全体的には、最後の表記、表現の工夫、ユニバーサルデザインという観点と色彩の配色という部分を考慮させてもらうと、教育出版社よりも、光村図書のほうが非常に見やすい配色、系列になっているのかなというふうに判断をさせていただきました。以上です。

#### ○会長

よろしいですか。その他、質問等ございませんでしょうか。

#### ○採択委員

質問になるか分かりませんが、おそらく、4社との比較というか、細かいところがど

うのこうのというよりも、ここまでのいろいろと微に入り細に入り書く必要があるのかなという疑問を根本で持っています、教科書として。自分の時代のことと比較することが、全てよいとは思わない、やはりもう少し生徒たちに考えさせる、あるいは教員が、その部分についてはしっかりと教育していく、教えていくようなところがあつていいのかなと考えると、全ての教科書が、少し丁寧過ぎると思いますが、その辺は、どう思われますか。

#### ○代表調査員

御指摘のとおり、少し丁寧過ぎるかな、流れ等も教員向けの流れ、それから、それを子どもが知った上で教員が指導するというような流れには当然なっていると思いますが、そこも論議の中では、例えばベテランの教員もいますし、中堅の教員もいますし、若手の教員もいると、初めて国語の教員になった者に対しては、やはりそういう流れが分かるような教科書というのもあってもいいのではないのかなという意見がありました。

ただし、教職員が教材研究等、自分たちでますます深めなくてはいけないというところに関しては、新採であろうが、中堅であろうが、ベテランであろうが、それはもう変わらないものだと思っております。その中で、校内で国語科が、互いに研究をし合って教材を深めていってもらえればと思っております。以上です。

#### ○会長

よろしいですか。

#### ○採択委員

主体的に学習ができるようにということで、先ほどもありましたように、非常に手だてというか、1人で学べるようにということが詳しく書かれている教科書が多かったと思うんですけども、学力テストの結果でもそうですが、思考力、判断力や、論理的思考というのが非常に課題であるということが全国的に、もちろん山城もですが、そこをやはり高めていくという意味において、子どもたちが、いろいろどうだろう、こうやって考えていったらどうだろうと考える余地がある、そういう教科書はどこだというふうにお考えですか。

#### ○代表調査員

話し合うとか、自分の意見をまとめるとか、そういう部分はどこの教科書も掲載されております。

ただし、光村図書に関しては、「学びのカギ」を鍵として、道しるべとして出して、その後、話合いの場を持つことと、それからICTの教材によって、自分の学びをさらに深めていく、その中から集団の話合いに導いていくという意味では、少し丁寧にICTの教材も用意されているのかなという印象は得ました。

#### ○会長

他、よろしいでしょうか。

#### ○採択委員

今まで出た質問とは全然方向が違いますが、同じ教材を取り扱っている場合、4社とも

取り扱っている物語が幾つかあったので、それに焦点を当てて見てみました。「少年の日の思い出」は、1年生の教科書に4社とも書いてありますが、もともとは外国の方が書かれた文章で、日本語訳をした方は同じ方、1人の方がされています。ただ、点を打つ場所や、同じ言葉でも漢字になっている文字、言葉と、平仮名になっている言葉が会社によって違いました。1文目から点の場所が違うものもあったので、その辺は、日本語訳をした方のものに沿って扱っているのかなど、分かりますか。漢字と平仮名というのは、きっと、文章の中で出てきたときに、受ける印象が少し違ったりするので、少し気になったので、お伺いしたいです。

#### ○代表調査員

今回の調査につきましては、申し訳ないですが、ここはこういうところに漢字を使っているとか、平仮名を使っているとか、そういう細かいところまでは、論議はしていませんでした。

ただし、国語の教材としては、当然平仮名の持つ軟らかさ、それから漢字の持つ自分の中で意味を知るといような点では、今後、教える側としては、個別にそれぞれの単元によって、意識して教えていかななくてはいけないかなと思っています。以上です。

#### ○会長

よろしいですか。他、質問はありますか。

引き続きまして、書写の報告もよろしくお願いします。

#### ○代表調査員

まず、特徴ですが、基本的書籍、中学生書写スタートブックという部分が冒頭についております。これに関しては、4社とも写真入りで、よく似たような状態です。ただし、今日的ですので、ICTのコンテンツの中で、イメージしやすいような部分を4社とも、使っているように思っております。

それと、最大の特徴は「学びのカギ」という、まず書写の冒頭に、ここではこういうことを学びますよと学習のポイントが明確に書かれているかなと思います。その明確に書かれていることを、光村図書の場合は附属の「書写ブック」が別刷りでついており、そこですぐに練習することで、3学年で積み重ねていくことができるかなと思いました。

次に、思考力、判断力の部分ですが、書写では書くことばかりに専念させてしましますが、なぜこのように筆が動いていくのか、ここでなぜ止めるのだろうかということも話合いを持つことによって、子どもたちは自分なりに意見として考えることができるかなと思っています。考える場面や話し合う教材を、より多く取り扱っているかなと思っています。

次に、主体的・対話的の部分ですが、小学校のときは、どうしても楷書で、若干行書も小学校の書き方の中には入ってきますが、中学校ではやはり行書に触れてもらう、それから自分のものにしてもらうという部分がありますので、振り返りと目標は達成できるような、チェックができる教科書になっていると思っています。

それから、二次元コードを読み取ることによって、本来ならば教職員が水黒板で運筆等

を書きますが、それがタブレット端末で直接見ることができるようになっています。ただし、それにずっと頼るべきではなくて、教える側は、運筆という、実際に筆を持って、そういう指導も十分可能な構成かなと思っております。

他の教科との関連ですが、ユニバーサルデザインフォントで、実に見やすいかなと思っています。それと、日常に役立つ書式として、手紙、それからはがき、それから願書の書き方等、掲載されています。

また、日本地図を用いた全国文字マップ、これは非常に生徒としては真新しいものであると思っています。

さらに、他との関連がある教材には、マークをつけて、教える側も学ぶ側も意識ができているのではないのかなと思っています。

表記・表現の工夫ですが、特別支援、人権、外国人児童、ユニバーサルデザイン、防災教育の観点から、専門家の校閲を受け配慮されている教科書であります。

また、最大の特徴としては、別冊の「書写ブック」が附属されており、教科書と切り離すことができます。3年間それを使うことによって練習量が確保されていると思っております。

各社デジタル教材を用意しています。

#### ○会長

何か質問はありますか。

#### ○採択委員

光村図書を中心に説明をいただきましたが、他の3社について、もう少し特徴を教えてくださいませんか。

○代表調査員 教育出版に関しましては、教科書が半紙と同等サイズで、約2センチ程度、横幅が広い教科書が使われています。その特徴に関しましては、開いたときに半紙とほぼ同等のサイズのお手本になっています。他3社に関しましては、2センチ分、若干半紙より縮小サイズで、実際に手本を置いてすずりを置いてとみると、大き過ぎなくてもいいのかなというのが一目で見て分かるポイントになっているかなと思っております。

また、どの単元もそうですが、運筆のコンテンツに関しましては、光村図書と東京書籍がデジタルコンテンツは充実していると思っております。その中で、「スタートブック」で書写の基礎・基本が写真を多用して説明されており、光村図書がイメージ化という部分では、一番すっと入ってくるのではないのかなと思っております。

あとは、一番大きいのは、練習量ですけれども、各社教科書の後ろに、その単元が終わったら、硬筆が中心ですが、硬筆を練習してみよう、漢字を練習してみようという部分がついていますが、単元終わりに少量ついているので、別冊になっているほうが練習量も多く確保できるかなと思っております。以上です。

#### ○会長

よろしいですか。他に、質問等ありますか。

## ○採択委員

今、各社にわたって説明していただきましたが、例えば、思考力、判断力、表現力の項目で、書写というのは多分運筆などスキル中心になってしまっていますが、実際に思考力、判断力、表現力を図る配慮が4社、報告書に書かれています。もう一度、その報告書に沿って、各社がどのように思考力、判断力、表現力を高めようとしているのかを御説明していただきたいということと、実際に書写の時間に、そのような時間を現場で先生方は取っておられるかどうか、単に、いわゆる書くことだけ、書写だけをされているのか、現場の様子も含めて、この思考力、判断力、表現力がどのように育成可能なのかを、説明していただけるとありがたいです。以上、2点です。

## ○代表調査員

話合いの機会を、明確に示されているのは光村図書であったと考えております。

ただし、思考力、判断力について、例えば、行書になったときに、当然書き順等が変わってくる場面があります。そのときに、なぜ書き順が変わるのかということに関しては、今まで新しい教科書になる以前から、指導者は、そこにポイントを置いて、子どもたちに考えさせながら授業を展開しています。ただし、そこに、現在ならばICTがすぐに使えるような状態ですので、まず運筆を見せることによって、その後、子どもたちになぜこうなるんだろうと話合った上で、中学校1年生の段階では、すぐに筆を持たせるのではなく、鉛筆で書き方、運筆の方法を練習した上で、次の毛筆にというようにどこの学校も取ってもらっていると考えております。

その中で、やはり練習量をいかに確保していかなくてはいけないかという点では、やはり別冊でついているほうが教職員も、それだけを集めて添削指導等しやすいのではないのかなというふうに思いました。

話合いに関しましては、どの先生方も少し悩んでいるところですが、そこを膨らませ過ぎると、書写の時間は限られておりますので、いかにその時間を工夫して、短時間に効果的に、今後、授業を進めていかなくてはいけないかというのは、課題として、教科書の調査とは、別の問題ですけれども、やはりそれが一番重きになってくるのではないかと、調査員の論議の中には上がっておりました。以上です。

## ○会長

よろしいですか。他に、質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは、ここで代表調査員には一旦御退席いただきます。また必要があれば、再度入室をいただきますので、よろしく申し上げます。それでは、退室をお願いします。

(代表調査員 退室)

## ○会長

それでは、国語と書写で別々に協議をさせていただきたいと思えます。

まず、国語から協議をさせていただきたいと思えます。何か御意見等ありましたらお願いいたします。

## ○採択委員

先ほど、全てにおいて、あまりにも丁寧過ぎるのではないかとということ質問させていただきましたが、これはある意味学習者の問題、教員の問題もあって、ここまで丁寧にやっているのかなと思います。それならば、どこまで丁寧に書けているか、できているかという点で見させていただくと、光村図書については、先ほど代表調査員からありましたように、「学びのカギ」、「学びの地図」、そうしたところで、しっかりと家庭学習にも対応できるのではないかと。それと、やはりデジタルコンテンツなどが豊富であるという点。東京書籍も結構デジタルについてもしっかりしていますが、全体的に見たときの印象でいうと、やはり光村図書が私は少し上かなというふうに感じました。

## ○会長

ありがとうございます。他に御意見等がありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、国語につきまして、光村図書はどうかという御意見がございましたので、光村図書でお諮りをしたいと思います。よろしいですか。

それでは、国語につきましては、光村図書を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

## ○会長

全員一致で御賛同いただきましたので、国語につきましては、光村図書を山城地区として共同採択するものといたします。

続きまして、書写につきまして協議をさせていただきたいと思います。御意見をお願いいたします。

## ○採択委員

書写ですけれども、これについては、やはり私は第一印象というか、教科書として、先ほども言いましたけど、家庭学習にどれだけ使えるかということも含めて見させていただき、光村図書が学びやすい、教える側も教えやすいのではないかとこのように感じました。

どういうところかというところ、うまく対照的な形で見やすく載っている。要するに、字としてよくない例とよい例、あるいは行書と楷書など、硬筆も含め、そういう意味で物すごく使いやすい、誰でも学習しやすいということを感じました。

また、姿勢の写真があり、そこにタブレット端末を使うときの姿勢、書写からは少し外れているかなと思いつつ、そういうちょっとしたところに工夫をされているところ。

それと、私は左利きですけれども、字は右で書きますが、左で書くときというところがあります。今は、左で書くこと自体が、もう認められている。自分のときは左で書こうとすると、必ず右に矯正されましたので、そういうところも、少しほっとするなと感じました。

あと、デジタルコンテンツも各社見させていただきましたが、やはり光村図書と東京書籍が結構しっかりしているなというふうに思いました。

全体の印象では、私は光村図書かなというふうに思っています。

#### ○会長

ありがとうございます。他に、御意見等ありますか。

#### ○採択委員

書写ですけれども、私が一番注目したのは、先ほど代表調査員からの報告にもありましたが、「書写ブック」で、これの位置づけが現場でどうかと思ったのですが、やはりあれがあることで練習量が増えるという報告がございました。その点からいくと、ワークブックがついているということは、別にワークを購入するという保護者負担の問題、それからもう一つは、教職員がワークシートを用意するという教職員の負担軽減の問題、この2つの意味においても、この「書写ブック」というのは非常に有効ではないかなと考えておりますので、光村図書がよいのではないかと考えております。以上でございます。

#### ○会長

ありがとうございます。他、特に御意見等、ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、書写につきまして、光村図書がどうかという御意見がありましたので、光村図書でお諮りをしたいと思います。よろしいですか。

それでは、書写につきましては、光村図書を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

#### ○会長

全員一致で御賛同いただきましたので、書写につきましては、光村図書を山城地区として共同採択することといたします。

ここで10分ほど休憩をとり、10時55分まで休憩とさせていただきたいと思います。

(休憩)

#### ○会長

それでは再開させていただきます。続きまして、社会・地理、地図につきまして説明をお願いしたいと思います。

(代表調査員 入室)

#### ○会長

代表調査員の先生におかれましては、この間、調査研究の取りまとめにつきまして御尽力いただきましてありがとうございます。それでは、調査研究の結果につきまして、報告をお願いします。

地理と地図別々で、まず、地理からお願いいたします。

#### ○代表調査員

地理の報告をさせていただきます。地理の教科用図書は4社です。東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版です。

全体としましては、各社、学習指導要領に示されている目標を達成するために工夫がな

されており、大きな差はございません。各大きな単元につきましては、導入、学習課題、解説、それから課題追求をするページがあり、まとめという流れで構成されており、それぞれ見開き2ページで1テーマで1時間の授業を行えるような構成になっています。

細かい観点について御説明します。

まず、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための配慮についてです。各社、巻頭で教科書の使い方に加え、地理的分野の学習で身につけてほしい力である地理的な見方、考え方についての解説をしています。また、この地理的な見方、考え方は、本文の随所にも示され、学ぶポイントが、そのページごとに分かるように工夫がなされています。その点につきまして、東京書籍では「スキルアップ」や「チェック&トライ」、教育出版では「確認」、「表現」、帝国書院では「確認しよう」「説明しよう」、日本文教出版では「確認」、「表現」というように、言い方は異なりますが、ミニコーナーを設け、基礎的・基本的な知識・技能を押さえられるように工夫がされています。

さらに、各社、まとめと振り返りのページがあり、単元ごとに基礎的な知識・技能を再度確認できるページになっております。

特徴的なものとしましては、帝国書院は「地図帳活用」という見出しが随所に設けられており、教科書に掲載されている地図だけでなく、繰り返し地図帳の活用を促す工夫がなされています。

次に、思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮です。基礎・基本の定着を図るためのミニコーナーに、説明しようや表現しようという課題が示されており、自分の考えを整理して表現するよう促しています。さらに、まとめと振り返りのページには、考えを整理したり、まとめたりするための思考ツールを用いて考えられるような工夫があり、思考する方法、考え方、考える方法、そうしたものを学べるような工夫もなされています。

次に、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮についてです。各社、単元を貫く問いや学習テーマ、それから見開きの1時間単位ごとに学習課題が示されており、生徒にとって学ぶポイントが分かりやすく構成されているので、生徒が主体的に見通しを持って学ぶことができるようになっています。

また、各社、二次元コードが随所に掲載され、様々な資料やワークシートを活用し、生徒が主体的に学ぶことができる工夫がされています。二次元コードを読み取ると、東京書籍、帝国書院、日本文教出版では、オリジナルの動画や「NHK for School」等の動画、様々な外部サイトにつながることができ、興味、関心を持って学ぶことができるようになっています。教育出版は3社に比べ少なめですけれども、ワークシートや幾つかの外部サイトにつながるようになっています。

また、各社、単元の導入に当たる初めのページに、学習への意欲を高めるような写真が掲載されておりますが、帝国書院は写真が大きく、前半の世界地理の部分では国旗や地図が掲載されており、その地域へのイメージを膨らませて、学習の見通しを立てて主体的に学ぶような配慮がなされています。東京書籍と日本文教出版は、二次元コードから導入の

動画を見ることができます。

次に、対話的な学びを促す工夫としましては、東京書籍では「みんなでチャレンジ」というコーナーを設け、話し合ったり、発表し合ったりする活動を促します。帝国書院では「アクティブ地理」という特設のテーマ学習のページや、単元のまとめの学習としてオリジナルの写真集をグループで作成する活動を設け、対話を促す工夫がなされています。日本文教出版では、こちらもまとめの学習において、グループで議論してみようという課題を設定しています。基礎的・基本的な知識・技能のところでも申しましたが、帝国書院の地図帳を促す工夫も主体的に学ぶ工夫になっているというふうに考えました。

以上で地理の報告を終わります。

### ○会長

ありがとうございます。それでは、何か質問等がございましたらお願いいたします。

### ○採択委員

御報告いただきまして、一通り教科書を見せていただいたときに、全部見開き2ページで完結されているということはすごく読みやすい、勉強しやすい教科書にどの会社もなっているのかなというふうに思ってお見させていただいておりました。

その中で、歴史でも出てきましたが、どうしても地理の勉強の中で産業の変遷であるとか、そんなところで歴史との関係は切り離せないものになってくると思いますが、他の教科と併せて、一番学習しやすいのはどの教科書だったか御説明いただけますでしょうか。

### ○代表調査員

報告書の採択基準2、内容や構成が学習指導を進める上で適切であること、(5)他の教科等の関連に書かせてもらっておりますが、どの会社も歴史や公民との関連というのは、これと関連していますというマークが描かれています。非常に分かりやすい印がついており、帝国書院は、小学校の各分野との関連も書かれていることと、こういう学習をしましたねという中身についても書かれて、付け加えて、コメントがついていたりします。日本文教出版にも、小学校の単元、小学校のこの分野、社会科の分野で学習しましたということは、こういうことを覚えているかなというような問いかけで書かれています。どの会社も他教科との関連、それから他分野との関連というのは分かりやすく書かれておりました。

### ○会長

よろしいでしょうか。それでは、他に質問等ございますか。よろしいですか。

### ○採択委員

先ほど、歴史で帝国書院の教科書が地理的な見方も配慮しているということがありましたが、逆にこの帝国書院の教科書において、地理の分野で歴史的に配慮しているようなところはございますでしょうか。

### ○代表調査員

社会科は中学校に入学して最初に地理を学びます。歴史、それからまた日本の地理、歴史というように勉強していきますが、帝国書院は、その巻頭のページで3年間にわたって

こういう流れで学んでいくんですよという、そういう学びのつながりというものも1ページにわたって丁寧に記載はされていました。

先ほどのマークのような、こういうふうに学んでいくんだよ、こういうことと関連していますよ、ということはどの会社も書いてありますが、3年間を見通した学びの中で、見通しをきちんとまとめて書かれているのは帝国書院だけです。

#### ○会長

よろしいですか。他に、質問等ありますでしょうか。

#### ○採択委員

先ほど、まとめに写真を使うという報告があったかと思います。写真やイラストは、今の子どもたちにとっては学習意欲の喚起であるとか、学習の手がかりとして大変重要であると考えますが、掲載されている写真等で、特によいなというふうに現場の感覚として思うところはどこなのか、また、それはどの教科書に多く見られるのかという点について教えてください。

#### ○代表調査員

どの会社も、やはり世界地理や、日本地理もですが、身近なところ以外の地域、子どもたちが行ったことがないところの学習をするのにイメージを膨らませるために、非常に多くの写真を掲載しています。中でも非常に鮮やかで、それがいいかどうかは分かりませんが、ぱっと目を引く写真を載せているなど話し合っていたのが帝国書院と日本文教出版です。景色や風景もたくさんありますが、人の活動が載せられているということです。市場の様子であるとか、子どもたちが興味を持つであろうスポーツの様子など、そういったものがたくさん掲載されているものが多かったです。

#### ○会長

よろしいですか。他に、質問等がありますか。よろしいでしょうか。

では、引き続きまして、地図の報告をお願いいたします。

#### ○代表調査員

それでは、地図帳について報告をします。

地図帳は、東京出版と帝国書院の2社でございます。両者とも学習指導要領に示されている目標を達成するための工夫は十分なされております。それから、教科書と同じように、巻頭で両者ともに地図帳の使い方についての説明があります。帝国書院には、先ほども少し触れましたが、小学校での既習事項の確認や、地図の種類、見方や使い方について分かりやすく確認がなされています。また、巻頭の特集に両者とも現代社会の課題としての持続可能な開発目標、SDGsに関することを取り扱っており、東京書籍は1ページであるのに対して、帝国書院は7ページにわたって非常に丁寧に取り扱っておられる印象がありました。両者、随所に地図や資料を読み取るための手がかりとなるポイントを問いかけるような形で示し、加えて帝国書院には、先ほどのSDGsのことであるとか、世界の生活・文化、日本の地形・気候、自然災害・防災といったテーマのページにおいて主題学習

というものを設けて、生徒たちが考えを深めていけるようなコーナーを設けております。

また、帝国書院は、自然災害、防災に関する資料が非常に豊富に掲載されているのが特徴でした。東京書籍は、防災に関しては、2ページですけれども、その中には、過去にどこで災害が起こったかというような地図や写真、それからハザードマップ、災害への備え、そういったことが掲載されています。帝国書院のほうは、さらに詳しく4ページですが、プレートの解説や南海トラフ地震のことや、線状降水帯の仕組み、あるいは台風の仕組み、洪水への備え、阪神・淡路大震災後の神戸の取組、雲仙普賢岳の後の状況など、そういったことも掲載されているというのが特徴でした。以上です。

#### ○会長

ありがとうございました。地図につきまして、質問等ありましたらお願いいたします。

#### ○採択委員

帝国書院と東京書籍を見比べた場合、両方ともおっしゃるように非常に資料が豊富で、詳しく述べられていると思います。特に帝国書院については、いろいろな資料が非常に詳しくなされているのではないかなというふうに見せていただきました。

また、各都市の拡大図などを見てみると、帝国書院のほうがとてもたくさん載っている。例えば、沖縄の那覇の拡大図とか、それから明日香の拡大図とか、それから東京書籍では名古屋とかその辺りに目を向けている。やはりその部分は、学習する上でよいのかなというふうな気はしており、やはり拡大図がたくさんあるほうが学習はしやすいものでしょうか、その辺りはどうなのか、教えていただきたい。

それと、巻末にいつも、東京書籍もそうですが、都道府県の人口などが出ていますが、今回、東京書籍はそれが省かれている、帝国書院はそのまま載っているということで、比較したりする場合、それもあつたほうが便利かなという気もしますが、その辺りを含めて教えていただきたいと思います。

#### ○代表調査員

両者ともに、二次元コードがたくさん載っていますが、そこから統計を掲載している総務省のページであるとか、そういったところにリンクするようにはなっていますので、東京書籍は、枚数を少なくするために、外部リンクにつながるような工夫がなされているなと思いました。

ただ、限られた50分の授業の中で学習していくという意味では、教科書や地図帳に、きちんと載っているほうが学習は進みやすいのかなという話はしていました。

#### ○会長

他、よろしいですか。

#### ○採択委員

地図帳を見ながら、その中で、今、この京都の山城に住んでいる子どもたちが、地図帳を見て、日本各地のことや世界各地のこと、いろいろなことに興味を持つ、そういう広げるような学習もしていただけたらと思いますが、そういった面で、子どもたちが興味を持ち

やすいような紙面作りなど、それぞれの特徴はどんな感じでしたでしょうか。

#### ○代表調査員

両者ともに工夫はなされていますので、子どもたちが興味を持って学習できるように例えば東京書籍は蜜蜂のキャラクターが問いかけるようなコーナーがあって、入学したての中学校1年生でも、そういうふうにとどっていくと学習できるという工夫がなされていました。帝国書院は、本当にいろいろな種類の地図を、いろいろな形で載せていますので、興味を持って学習することもできますし、やはり教科書とつながっている、教科書はこのページに載っています、地図帳にはこのページが載っています、つながりがあるというのが帝国書院の強みかなと話合っていました。行ったり来たりしながら、教科書と地図帳だけで、二次元コードを読んだりもしますけれども、授業を進めていけるのではないかと。また、子どもたちが学びたいときに学んでいくような仕組みになっているのではないかとこの話を会議ではよくしました。

#### ○会長

よろしいですか。

#### ○採択委員

社会とは限りませんが、今、講義型一斉授業というよりも、子どもたちが主体的・対話的に学んでいく、個に応じた学習というか、それぞれの能力に応じて勉強していくのに当たって、一つの単元の中で、例えば暖かい地方、暖かい国とか、そういう地域指定の中で、その中に地理的なことや経済的なこと、農業や、そういったことが含まれている中で、前から順番にやっていくのではなく、子どもたちがその単元の中で、自分の興味、関心のあるところから学んでいくというような学習の仕方があろうかと思えますし、これからはそれが主流ではないかなというふうに思います。そういった学習を進めていく、教師が指導をしていく上で、教科書というのは資料になろうかと、もちろんICTを使って調べていくというふうなことになろうかと思えますが、そういう観点から見たときに、どの教科書がよいのか、どのような調査をされましたか。

#### ○代表調査員

御意見のような観点で調べているということではありませんが、ただ、大きなテーマが掲げられていて、それを追求していくという練習をしながら、後半には子どもたちに任せていくということが、どの教科書であってもできるのではないかとはいえますが、いただいた御意見のような観点で、子どもたちに全く任せた自由進度学習というのでしょうか、そういうことを想定した調査はしていないところです。

#### ○会長

よろしいでしょうか。他に御質問ありますでしょうか。

それでは、御質問はないようですので、ここで代表調査員には一旦御退席いただきます。また必要があれば、再度入室いただきますので、よろしく願いいたします。

(代表調査員 退室)

## ○会長

それでは、まず、社会の地理的分野について協議をさせていただきたいと思います。御意見、よろしくお願ひいたします。

## ○採択委員

御説明いただいた中で、やはり地理を学ぶ上での地図帳との活用というところが非常に大きな部分であったのかなと思います。それと、3年間を見通した学びのつながりを示されているというところで、帝国書院の教科書は使いやすいのではないかと私は思いました。以上でございます。

## ○会長

ありがとうございます。他に、御意見はございませんでしょうか。

## ○採択委員

地理ですが、さきほども質問させていただいて、代表調査員からお答えいただきましたが、やはり子どもたちが知らない世界をどうイメージさせていくのかという点においては、やはり写真とかそういうものは非常に重要ではないかなというふうに考えています。その中で、人が載っているという、そういう人の活動が写真としてきちっと掲示されているということで、子どもたちがイメージを広げやすいという答えがありました。確かに見てみると、そうだなという思いがしています。単なる地形的なものだけではなく、そこから子どもたちが想像を働かせていく、それこそ主体的で深い学びにつながるように工夫されているのかなというふうに思いましたので、私も帝国書院がいいのではないかなと感じたところです。

## ○会長

ありがとうございます。他に何か御意見ありますでしょうか。よろしいですか。

それでは、社会の地理的分野につきましては、帝国書院がどうかという御意見がございましたので、帝国書院でお諮りをしたいと思います。よろしいですか。

それでは、社会、地理的分野につきましては、帝国書院を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

## ○会長

それでは、全員一致で御賛同いただきましたので、社会、地理的分野につきましては、帝国書院を山城地区として共同採択するものといたします。

続きまして、地図につきましては協議をさせていただきたいと思います。御意見をよろしくお願ひいたします。

## ○採択委員

説明にもありましたように、帝国書院のほうが、資料が非常に豊かで豊富であるということ、また、歴史との結びつき等についても考慮されているということ判断して、帝国書院がいいのではないかと思います。

## ○会長

ありがとうございます。他に、御意見ありますでしょうか。

## ○採択委員

説明の中で、防災についての記述がきっちりされているというところが、これからの時代、子どもたちが全国各地で起こっている災害と、それに備えての取組をどのようにしていくべきなのかというところを考えられる資料にもなってくるのかなと思いますので、私も帝国書院がよいと考えました。以上です。

## ○会長

ありがとうございました。他に、何か御意見ありますでしょうか。

## ○採択委員

やはりSDGsのことについて、両方とも載っていますが、より丁寧にやるということ、それから自然災害、それに対する防災のことについては、本当に今、起こっておりますので、子どもたちがそういうこともしっかりと身につける。単なる地図を見てということではなく、いろいろなところでそういう知識を持って考えさせるということが大事だと思いますので、私も帝国書院かなと思います。

## ○会長

ありがとうございました。その他、何か御意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、社会・地図につきましては、帝国書院がどうかという御意見がございましたので、帝国書院でお諮りをしたいと思います。よろしいですか。

それでは、社会・地図につきましては、帝国書院を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

## ○会長

それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、社会・地図につきましては、帝国書院を山城地区として共同採択するものといたします。

続きまして、社会・公民の協議をしたいと思います。

(代表調査員 入室)

## ○会長

代表調査員の先生におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力いただきましてありがとうございました。

それでは、調査研究の結果につきまして御報告をよろしくをお願いいたします。

## ○代表調査員

公民的分野の教科用図書の調査結果を報告させていただきます。

今回、対象となる教科書は6社ありました。どの教科書会社も学習指導要領に示す評価及び公民的分野の目標に従いまして、内容及びその取扱いを示す事項を取り上げています。

公民的分野の学習は、地理的分野、それから歴史的分野の学習を踏まえた上で成り立っているわけですが、主体的にこれから社会に参画する子どもたちの意識を醸成していくために、どういう教科書がふさわしいかという視点で5つの観点に基づいて調査をさせていただきました。

その1つ目としましては、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような配慮がなされているかという点ですが、どの教科書会社も、各章の冒頭や章末において、単元全体を通した知識というものの習得を図る工夫がされているというふうに感じました。

それから、2つ目の視点としましては、思考・判断・表現の育成を図るためにどのような工夫がされているかということで、どの教科書会社も資料などを用いて、見方や考え方を置く課題が適宜設定されているという会社が複数ございました。章末においては、思考ツールを使って、思考・判断・表現力の育成を図ろうとする教科書会社が多数見受けられました。

3つ目の視点としまして、生徒の主体的・対話的な学習に取り組むための配慮についてですが、どの教科書会社も毎時間、学習課題を示し、自らが課題を発見して解決する力を養うことができる工夫がされていたように思います。この部分につきましては、割と各会社の特徴が出ておりまして、後ほど簡単に補足をさせていただきたいと思っております。

それから、4つ目としましては、他の教科との関連ですが、小学校での既習事項や、地理、歴史、他教科との関連を示すマークが施されておりまして、他分野とのスムーズな接続が配慮されているように見受けられました。

最後に、5つ目としましては、表記・表現の工夫ですが、ウェブ上のワークシートや二次元コードを有効に活用している工夫が各会社で見られました。

以上が調査において配慮した5つの視点であるわけですが、先ほども申しましたように、生徒が主体的に活動する場面は、各会社それぞれの工夫がされておりまして、その辺りをもう少し補足説明させていただきたいと思っております。

まず、東京書籍につきましては、各章の冒頭で導入の活動、章末においてはまとめ活動を設定して、単元を通した知識・技能の習得を図る工夫が見られていました。また、「みんなでチャレンジ」や「スキルアップ」のコーナーを設けまして、課題を発見し、解決する能力を養う工夫が見られました。「もっと知りたい!」というコーナーがあって、より深い学習も期待できました。また、思考ツールや探求のステップで、学習の段階が理解できる工夫が見られました。

続きまして、教育出版ですが、各章の冒頭に「学習のはじめに」、章末には「学習のまとめと表現」を設定し、単元を通した知識及び技能の習得を図る工夫が見られました。

「公民の技」のコーナーで活動場面を設定し、自ら課題を発見し、解決する能力を養う工夫が見られました。「LOOK!」「THINK!」と書かれた資料解説や課題提示がさ

れており、生徒が主体的に学習に取り組める工夫が見られました。各編の導入において「学習のはじめに」というコラムを設け、SDGsとの関係も書かれるようにするなど、興味、関心を高める工夫が見られました。

続きまして、帝国書院です。各章の冒頭に「学習の前に」、章末では「学習を振り返ろう」を設定し、単元を通じた知識・技能の習得を図る部分が見られました。

「アクティブ公民」のコーナーで活動場면을設けると、自ら課題を発見し、解決する能力を養う工夫が見られました。「公民プラス」や「未来に向けて」のコラムも多くあり、生徒の興味、関心を引く工夫が見られました。

最後の単元が課題探求学習となっております。自分でテーマを決め、課題について調べ、3年間のまとめ活動が行えるようになっていました。各章末には課題探求への準備があり、単元を単にまとめるだけではなく、課題探求学習に向けてのテーマを考えることができるように工夫されていました。

4つ目は、日本文教出版です。各章の冒頭に「学習の始めに」、章末に「学習の整理と活用」を設定し、単元を通じた知識・技能の習得を図る工夫が見られました。

「アクティビティ」のコーナーで活動の場면을設けるなど、自ら課題を発見し、解決する能力を養う工夫が見られました。

「明日に向かって」というコラムや「情報スキルアップ」、「公民+α」などで、今日の社会の課題について考える工夫が見られました。

また、各章の導入において、漫画を用いて、章の最後に「チャレンジ公民」を設け、随所にシンキングツールで分かりやすく解説するなど、単元を貫く学習の手助けを行う工夫が見られました。

続きまして、自由社ですが、学習のまとめと発展を設定し、単元を通じた知識・技能の習得を図る工夫が見られました。単元の最後に「ここがポイント」と示されており、授業で押さえるべき根拠がまとめられていました。主体的に学習ができるように、「やってみよう」や「アクティブに深めよう」で学習課題が効果的に設定されていました。

「もっと知りたい」というコーナーを設け、興味、関心を持つ工夫も見られました。

最後に、育鵬社です。各章の冒頭に「〇〇の入り口」、章末には「〇〇のこれから」を設定し、単元を通じた知識・技能の習得を図る工夫が見られました。資料活用や見方、考え方を問う問いが効果的に設定されていたように思います。章末では、思考・判断・表現の課題が設定されており、主体的に学習ができるよう、毎時間、学習課題を示し、「学習を深めよう」のコーナーや「やってみよう」のコーナーで活動場면을設けるなど、自ら課題を発見し、解決する能力を養う工夫が見られました。

以上で調査報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

## ○会長

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告につきまして、何か御質問等ございませんでしょうか。

## ○採択委員

公民についてですが、地理部門と歴史部門の両方とも関わりが深く、学習内容においては、世界との関わりや憲法、政治と、子どもたちの日常生活と切り離すことができない内容が1冊に詰まっていると思います。山城地域の子どもたちが積極的に公民を学んでいけるような教科書の各社の工夫や徴などの違いについて、5点ぐらい気になったところがあったので、そこについてお伺いしたいと思います。

大事なの中身ですが、表紙の印象について、少し見比べてみたところで、各社様々で、シンプルなものから、多くの写真が入ったものまであって、選挙の投票の場面が表表紙にある会社と、裏表紙に載っている会社、あと、いろいろな場面が載っていますが、まず教科書を手に取って、何を学ぶのかということ的印象づけるのが表紙だと思いました。使用されている写真の場面や量、配置、デザインなどについて、御意見が出たかどうかをお伺いしたいです。

2点目ですが、SDGsの17の目標の図が入っているページが各社様々で、多くの会社は表紙をめくった巻頭の1、2ページや、その次のページぐらいには載っています。その中で、1社は大分後ろの学習内容として出てくるページに表がありました。その辺りは学習に使用する上で、学習の順番もあると思いますが、各社の示し方というのが、授業を進める上で使いやすいのか、出てくる順番によって何か影響があるのかということをお伺いしたいです。

あと、SDGsの関わりがある内容を示すマークが、教育出版はとでもたくさん出ていたかなと思いました。多くのページの下のほうに入っていることが多かったのですが、入っている分量が情報量として多いほうがいいのか、少ないほうが分かりやすいのかという点も、使っていてどうなのかということをお伺いしたいです。

3点目は、使われている言葉の違いについて、その違いに意味があるのかどうかということです。日本国憲法の説明の部分で、3つの基本原理と示しているところと、基本原則と示しているところがあって、この言葉の使い分けに意味があるのかなのか、どれを使っても結局検定は通っているので、影響はないと思いますが、1つずつの言葉の持つ意味によって、各社がどのように扱ってこの言葉で記載しているのかというのは少し気になったところでした。

4点目です。コラムの内容と量について、本文の内容以外のものになるので、コラムや読み物は、子どもたちが身近で感じる事例が多く取り上げられていると、自分たちのことと関連づけて問題や課題も見つけやすくなると思うし、興味、関心も高まって、思考も話し合いの中で深まっていくかなと思うけれども、各社の取り扱っている内容、量について違いなどがあったのかを知りたいです。

同じような読み物を載せているところもあったし、各社扱っている内容が多岐にわたっていたので、このコラムは大事というのがあるなら、お伺いしたいと思いました。

巻末の資料として扱っている用語解説や法令集についても、教科書にとじ込んである会

社と、二次元コードで見る会社とがあって、用語解説の数もまちまちですが、二次元コードの場合、たくさん入れ込んでも教科書が重くならないと思いますが、その辺りでどちらが使いやすいのかをお伺いしたいです。

5点目ですが、主体的な学びの工夫についてです。公民の分野は、先ほども申し上げたとおり、学ぶ内容が幅広く、中学生自身は多分政治においても、どこか他人事のような感じで、遠くで行われていること、あまり自分に直接関係ないという感じで生活していて、教科書をぺらぺらっと見ても、多分自分事として捉え切れていない。いいか悪いかの判断はできるけれども、自分がそこに、その世界に放り込まれたらどうだろうというところは活動の中で知っていくしかないような教科かなというふうに私は感じています。

ただ、成人年齢が18歳に引下げになったので、選挙権も、自分の精神成長と関係なく、18歳になると与えられることになりました。すると、これまでよりも少し早い時期から自分たちの生活と将来が政治や世界とも深く関わっているんだよということを子どもたち自身が認識していけるような学びを公民でもっと積極的にしていく必要があると思っています。

各社、毎時間、学習に入る前の導入活動から後の振り返りまでを、見通しを立てて学習に取り組めるようにページ構成されています。それで、資料整理のためのチャート図とか、レポートのまとめ方とかが記載されているページがどの社もあり、どの図をどんなふうにするのかというのが多分グループによって違ったりするのかなと思います。その中で、各社において子どもたちが主体的な学び、活動を広げていきやすいような手引や、工夫、特徴に違いがあったのかというのを伺いしたいです。

あと、二次元コードの内容や、外部リンクにつながるなど使いやすさについても大きく違いがあるのか、伺いしたいと思います。以上です。

## ○代表調査員

5点御質問がありましたので、順番にお答えさせていただこうと思います。

まず、1点目の表紙の印象ですが、6社比較する細かいところまでは、調査の時点では、子どもの目線に立ってとかという話はあまりしていませんですが、ただ、会社によっては、すごくシンプルな会社もあれば、今の時代のタイムリーな写真を掲載して生徒の興味、関心を引くような、そういう工夫はやはり会社の色が出ているのかなという話はございました。表紙はもちろんのことですが、単元の最初の1時間目の工夫として漫画を取り入れている会社があり、イラストで分かりやすく、この単元ではこういう学習をするんだよということが見通せるような工夫をされている会社が多いなと感じました。1つ目の質問については以上です。

それから、2点目のSDGsの目標の図が、教科書会社によっては後半にまとめて載っているところもあれば、毎時間、ここがSDGsに関係するところだというように細かく入れている場合もありますが、これも授業を組み立てていく上で、本当に毎時間、毎時間それをSDGsに絡めてやっていくと、逆にマンネリ化してしまって駄目になるケースが

ある一方で、毎時間やるほうがより意識できる、ここは賛否が分かれるところかなと正直思いながら、教科書会社6社ありますけども、その取り入れ方はまちまちというふう感じていました。

それから、3点目の日本国憲法の3つの基本原理、基本原則の表記の違いについては、要は3つ大事だよということが子どもに伝わればいいわけですので、先ほど御質問の中にもありましたが、検定が通っているわけですから、あまり聞き慣れないような表記の仕方というの、実際、教科書会社によってはありますが、そこはこちらとしては特に問題としていない次第です。

それから、4つ目のコラムの内容と量につきましても、やはり教科書会社の違いによっては、しっかりと補足をする形で深めるような内容のコラムを取り入れている会社があったり、あるいはその会社によっても、どこをコラムとして何を捉えるかというのにも差があったように思います。とりわけ調査をするときに、領土問題であるとか、人権に関わる部分とか、どのようなコラムが配置されているのかということは調査をする段階では調べましたが、例えば人権のコラムでいいますと、全国の人権作文のコンクールに掲載されていたようなものを同じ中学生がこんな作文を書いているんですよというふうで紹介しているところもあれば、領土問題に関していいますと、歴史的なことを掘り下げる教科書会社があったり、あるいはもうそういう歴史は置いておいて、現在、どういう問題が諸外国との間であるか、今現在の課題というところに焦点を置かれているところもあり、その辺りは差が出たのかなというふうに思っています。

制服問題、中学生のタイムリーな話題としたら、LGBTQの制服の写真等入れて、子どもたち自身が主体的に校則を変えたりするという、そういう生徒からすると関心事をテーマに捉えているような中身もあったかなというふうに思いました。

最後に、5点目の主体的な学びにつきましては、どの教科書会社も導入で課題提起をして、最終的には振り返りを行うところまで一定の時間、流れを重要視しつつ、生徒たちが最終的には積極的に学習に取り組めるような工夫がされていたのではないかなというふうに思っています。

とりわけ、選挙権が18歳に引き下げられたというあたりも公民の授業の中では当然触れていくわけですので、中学生の間にしっかり学びをしておくことが大事だという意識を持たせるというような授業の構成になっているのではないかなというふうに思いました。

全部質問の答えが拾えているかどうか分かりませんが、以上です。

## ○会長

よろしいですか。それでは、他にご質問はありませんか。

## ○採択委員

最後のことと関わりますが、公民分野というのは、中学3年生での履修ですね。つまり3年後には18歳ということで選挙権の問題があって、早い子ですと、高校3年生の4月2日で18歳になって、4月、5月にもし仮に選挙があれば選挙すると、こういう形にな

るわけですね。とりわけ18歳になるということで、成人、大人になるわけですから、公民分野の指導が、やはり物すごく大きいウエートを占めてくるというふうに感じています。

それで、今回、全部で6社の教科書で、そのことがきちんと触れられているのかいないのか。つまり今までの教科書とそこがどう違うのか、どう変わったのかということが1点です。

もう一つは、東京書籍の他の教科等との関連のところでは記載していただいたんですが、18ページです。東京書籍の他の教科との関連のところだけが、他の教科書にはないことが記載されていました。つまり人権、平和、防災などの他分野というふうに書いてあるので、他の会社はそれがいいのかどうか。あるけれども、あまりウエートがないということなのかどうか。その2点だけお願いします。

#### ○代表調査員

まず、1点目の18歳から選挙権を付すことによって、教える中身がどのように変わるのかということですが、やはり分量が以前より増えているかなというふうに思います。若い世代の人たちが選挙に行きやすいような写真を取り入れている会社があったり、あるいは模擬投票といいますか、市役所から選挙管理委員会の方に来ていただいて、実際に体験するような、そういうものを教科書の中に入れていたところもあったかなというふうに思っています。ですので、従来の教科書に比べると、どの会社も相対的には増えたかなというふうな印象を持っております。

それから、東京書籍のみ他の教科との関連というふうに、分量が他社よりもたくさんあるのではないかと御指摘でしたが、決して他の会社が薄いわけではなくて、逆に東京書籍のほうがその領域のところは少し他よりも多いかなという印象を持ったので、そういう表記の仕方にさせていただきました。以上です。

#### ○会長

いいですか。

#### ○採択委員

今もありましたけれども、やはり成人年齢が18歳になったこと、選挙など、非常に中学校で大事だと思います。今説明いただいた6社ですが、それぞれに工夫されていてということで、あまり説明がなくて、特に主体的で対話的なところについて各社詳しく説明をいただいたところでは。

その中で、冒頭お話しされたように、この公民というのは、小学校の社会の学習や、地理、歴史、総まとめ的などところがあるかというふうに思いますので、この6社の中で、今2つ言いました、より子どもたちが興味、関心を抱くとか、先生たちがそういうものに近づけやすい、また歴史や地理とつながって教えやすいという、6社の中でこれが一番教えやすいのかな、つながっているのかなというようなものがあれば、その辺のところも説明いただいたらと思いますが、よろしいですか。

#### ○代表調査員

会議を何回かする中で、最終的にはこの会社が使いやすいよねという話になったのが、帝国書院でした。理由ですが、まずは、単元を通してどういう学びをしていくのかということが子どもたちに非常に分かりやすい伝え方をしているという点です。これが1つです。

それから、2つ目としては、毎時間の学習、1時間の学びが、内容もそうですし、他の教科書会社と比べてみると、新しい写真が導入されていたり、どちらかというところだと東京書籍が山城地域では長い間、公民の教科書として使われていて、ベテランの先生から見ると、「ああ、またこれやな」という印象を持つ場合があります、どちらかというところだと王道という感じがしたんですが、帝国書院も非常に新しく、制服問題を取り入れていたり、LGBTQ+まで表記されているというのは他の会社にはなかったもので、今の子どもたちが最新の情報を得られるというあたりが共感を得られるところでした。

あと、先ほども質問の中にもございましたが、特設ページやコラムの種類、その配置の仕方、内容につきましても、他の教科書会社に比べたら秀でるところがあつて、あともう一つは思考ツール、先ほど質問に答え忘れていたところだったと思いますけれども、学習した内容を、子どもたちがどのようにまとめをするのか、その思考ツールのいろんな形を押さえるページというのが最初の段階で提示してあるので、最終的にはこういうまとめ方をしたらいいんだなということも丁寧に教えられていたので、最終的には帝国書院が一番バランスよくその辺りが取り入れられているのかなというふうに感じました。以上です。

## ○会長

よろしいでしょうか。

## ○採択委員

私も18歳成人に絡めて、やはり義務教育、最後の学年ということで、9年間の学びの成果、あるいは3年間の学びの成果をいかに意識しているかということで、帝国書院がよかったかなというふうに思いました。

質問は1点です。この教科書が使用されるのが2025年で、SDGs2030年目標のラスト3分の1に当たります。そうしますと、SDGsではない、もう時代ではないのではないか、次が大事だというような、そういう意識づけも大事かなと思いますが、それについて、何か教科書で特徴的なものがあったのかどうか、教えていただけるとありがたいです。

## ○代表調査員

最新のものが言葉として表れているかどうかというのは、教科書を見て、「これは知らなかったな」という言葉はありませんでした。

## ○採択委員

確認ですが、帝国書院に「NEXT2030へのヒント」という項目があつたと思います。それが新しい視点だと思います。

## ○採択委員

説明の中で、教科書の構成や単元の流し方はおおむねどの社も一緒というような御説明

もあったかなと思う。

ただ、1点だけ、差異として、帝国書院の「課題探求学習」、これはもう帝国書院にしかないかなというふうに私は理解しましたが、最後の3年、義務教育のまとめとして、この単元が唯一この帝国書院にだけにあるという、この辺りについて、調査員ではどのような話で出たのかということと、山城の子どもたちにとって、いわゆるこの単元というのが、学びをきちんと深め、身につけるために必要だというふうに考えておられるかどうか、その辺りについて、1点だけお願いいたします。

#### ○代表調査員

そうです、もちろん今指摘をいただいたことがずばり、他社になくて帝国書院にある場面です。そこを見たときに、「これいいな」というのが意見として出ていました。もう3年間のまとめをしっかりとされているのはこの会社だけでしたので、おっしゃるとおり、それで他との違いはございました。以上です。

#### ○会長

他に、ご質問はありませんか。

それでは、ここで代表調査員の方は一旦御退席をいただきます。また必要があれば再度入室いただくこともあるかと思っておりますので、よろしくようお願いいたします。退室をお願いいたします。

(代表調査員退室)

#### ○会長

それでは、社会、公民的分野について協議をさせていただきます。

御意見がありましたら、よろしくようお願いいたします。

#### ○採択委員

今いろいろとお話にもありましたけれども、公民の学習を通して、生徒たちが今の現代社会に興味、関心を抱きながら、よりよい社会に向けて自分事として考えていくということから、先ほどありましたけれども、帝国書院が新しい現代のものが一番あるだろうということで、そこが一番よいのではないか。教科書は替わることにはなりますけれども、私は帝国書院がいいのではないかというふうに思いました。

#### ○会長

ありがとうございます。他に御意見はありませんか。

#### ○採択委員

私も帝国書院がいいと思います。理由は2つありまして、1つは、先ほど言いましたように、9年間の義務教育の最後、それから中学校の最後の学習、そして教員が最終的にこういう課題探求の単元までやはり考えていただかないといけないというか、教員としての見通しも示唆している点でよい、それからもう一つは、先ほども質問で言いましたけれども、やはりSDGsの次をヒントとして上げていること、これはすごくいいのかなというふうに思いました。以上です。

## ○会長

ありがとうございました。他に御意見はありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、社会、公民的分野につきましては、帝国書院がどうかという御意見ありましたので、お諮りをしたいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、社会、公民的分野につきましては、帝国書院を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

## ○会長

ありがとうございます。それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、社会、公民的分野につきましては、帝国書院を山城地区として共同採択するものといたします。

では、12時を過ぎましたので、ここでお昼の休憩を取りたいと思います。午後は1時再開ということですので、よろしくをお願いいたします。

(休憩)

## ○会長

午後からの協議を再開させていただきたいと思います。

進行を奥村副会長にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

## ○副会長

それでは、午後の部を開始いたします。数学の教科用図書の採択を行います。

数学の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

## ○副会長

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力をいただきまして、ありがとうございます。それでは、調査研究の結果について報告をお願いいたします。

## ○代表調査員

それでは、数学について説明をさせていただきます。

まず、東京書籍ですけれども、デジタルコンテンツは、教科書内にDマークが示されており、一覧が見られるアドレス、二次元コードが巻末にも記されております。各章の構成につきましては、節ごとにQ、例、問いとして、節末に練習問題、章末には章末問題があります。それぞれの問いに対する補充問題が二次元コードで教科書下と巻末にあり、生徒の実情や習熟度に応じて学習ができるよう工夫されています。各章に考える楽しさを実感できる深い学びを設定し、問題をつかむ、見通しを立てるなど側注に問題解決のプロセスを示すことで学習過程が可視化されており、見通しを持って問題解決ができるよう工夫されています。章末には授業のつながりや大切だと思った考え方を整理して自分の言葉で書く振り返りレポートが設定されています。

続いて、大日本図書ですけれども、デジタルコンテンツは、教科書内にウェブマークで

記されており、一覧が見られるアドレス、二次元コードが巻頭にも示されています。各章の構成につきましては、節ごとに活動、例、Q、問題、そして節ごとに練習問題、章末には章末問題があります。それぞれのQ、問題に対して補充する問題が同じページと、加えて巻末にもあり、生徒の実情や習熟度に応じて学習ができるよう工夫されています。問題発見、問題解決の流れとして、「問題を見いだそう」、「解決のしかたを探ろう」、「解決しよう」、「深めよう」の4つのステップを示すことで学習過程が可視化されており、見通しを持って問題解決できるように工夫されています。章末には数学の有効性に気づく質問、学びの振り返りが設定されています。

続いて、学校図書ですけれども、デジタルコンテンツは、教科書内に二次元コードで記されており、一覧が見られるアドレス、二次元コードが巻頭にも記されています。各章の構成については、クエスチョン、例、問い、そして節ごとに練習問題、章末には章末問題があります。また、巻末には復習問題があり、生徒の実情や習熟度に応じて学習ができるよう工夫されています。数学的活動の問題には、教科書の側注に帯をつけ、問題を見つけよう、予想してみよう、調べようなどと示し、生徒が学習を進めていく過程が可視化されており、見通しを持って問題解決ができるよう工夫されています。また、章末には、できるようになったことの確認や、さらに学んでみたいことを書く振り返りが設定されています。

続いて、教育出版ですが、デジタルコンテンツは、教科書内に「まなびリンク」で記されており、一覧が見られる二次元コードが巻頭にも記されています。各章の構成については、節ごとにQ、例、確かめ、問い、そして節ごとに練習問題、章末には章末問題があります。また、確かめや問いに対しての補充する問題が巻末にあり、総合問題と併せて生徒の実情や習熟度に応じて学習ができるよう工夫されています。問題解決のプロセスとして、教科書側注に、「問題をつかむ」、「見通しを立てる」、「問題を解決する」、「振り返る」などと可視化されており、見通しを持って問題解決ができるよう工夫されています。また、学びの振り返りができるよう、章末に学習のまとめが設定されています。

続いて、啓林館ですが、デジタルコンテンツは、教科書内に二次元コードで記されており、一覧が見られる二次元コードが巻頭にも記されています。各章の構成は、節ごとに広げようで問いがあり、項末には練習問題、章末には章末問題が多くあります。また、問いに対する補充問題が二次元コードで教科書下にあり、巻末の「数学広場」と合わせて多くの問題があり、生徒の実情や習熟度に合わせて学習できるよう工夫されています。数学の利用場面では、問題設定、見通しを立てて問題解決、振り返って深めるなどの3つのステップを設置することで学習過程が可視化されており、見通しを持って問題解決できるよう工夫されています。また、章末の「あしあと」のページでは、できるようになったことや、さらに学んでみたいことを文章でまとめる振り返りが例文つきで設定されています。

続いて、数研出版ですが、デジタルコンテンツは、教科書内に「L i n k」マークで示されており、一覧が見られるアドレス、二次元コードが巻頭にも記されています。各章の

構成については、節ごとにQ、例、問があり、節末には練習問題、章末には章末問題があります。問いに対する補充問題が二次元コードで教科書下に、また、巻末には章ごとの総合問題があり、生徒の実情や習熟度に応じて学習ができるよう工夫されています。キャラクターの対話を通して問題解決のプロセスを示すことで学習過程が可視化され、見通しを持って問題解決ができるよう工夫されています。また、章初めの振り返りでは、その章の学びに関連する既習事項を振り返れるよう設定がされています。

最後に、日本文教出版ですが、デジタルコンテンツは、教科書内に二次元コードで記されており、一覧が見られるアドレス、二次元コードが巻頭にも記されています。各章の構成については、Q、例、問があり、節末には練習問題、章末には章末問題があります。問いに対して補充する問題やチャレンジ問題があり、生徒の実情や習熟度に応じて学習できるように工夫されています。身近な事柄を数学の問題にした「学び合おう」では、対話を通して学び合う構成がされており、「見通しをもとう」、「考えよう」、「話し合おう」など、学習過程が可視化されており、見通しを持って問題解決ができるよう工夫されています。また、予想や比較、振り返りなどをまとめることができるよう、巻末に振り返りシートは別紙で設けられています。

以上で各出版社の教科書についての報告を終わります。

#### ○副会長

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告につきまして、質問がございましたら、よろしくお願いいたします。

#### ○採択委員

どの教科書もその特徴や特色を出して、学習者の興味、関心を高めるような工夫がされていたと思います。また、学習した内容を生かして、他の学習へつながるような発展的な学習活動も取り入れています。また、学習内容を定着させるための補充問題やつまづきを解消するための指導の工夫も充実されていて、さらに、指導要領が求める自らが主体的、対話的に学習に取り組めるよう配慮がされているという、どこの教科書も特徴を出しているなと思いました。

以上のことから甲乙つけ難いですが、私が1点注目したことは、小学校は啓林館を使用しているということです。啓林館の強み、アドバンテージになっているんだと思うんですが、特に中学校1年生1学期の学習は、急に数学的な言葉や数式が入ってきて不安が大きいと思います。ところが、算数科で啓林館での学習の流れが身につけている中で、中学校での学習が始まることで戸惑いが少なく安心できるのではないかと考えていますが、他の教科と違って、数学は授業の流れや組立てがどの単元でも同じように流れ、組み立てられると、学習者の安心感が増すと思います。よって、小学校の流れを受け継いだ授業を展開されることは大変よく思います。

また、学習した内容を積み上げて新しい学習へとつながるものだと考えますが、そこで1点お聞きしたいのですが、調査員会議の中で、現場の先生方の声に、小学校からの流れ

についての御意見はなかったのか。あれば、どのような話をされたのかお聞かせください。

#### ○代表調査員

今回の調査につきましては、数学の7社の中学校の教科書で比較をしました。小学校の教科書が7社あるわけではございませんでしたので、そのつながりという部分についての協議はしておりません。そのため、それぞれの教科書がどんな流れになっているのかというところについては比べるものもなくということでしたので、大きな話題、協議にはなってはございません。

#### ○副会長

他にどうでしょうか。

#### ○採択委員

どの教科書もコンテンツの補充問題というのが非常に充実していると思いました。ただ、基礎、基本の定着を図るための反復練習問題をコンテンツの中に多く取り入れている会社もありました。そのおかげで問題量というか、練習問題などが非常に減って、軽量化を図っているという会社がありました。教科書のページを減らすことで教科書の軽量化が図られて、生徒の負担を減らすことにつながっているように思いますが、このことについて、唯一この報告書にも記載されていますので、そのことについてどのような検討をされたのかお聞かせください。

#### ○代表調査員

二次元コードがたくさんありますので、その点については有効に活用できるなという話をしておりました。

軽量化につきましては、啓林館の教科書は非常に軽量化されたというふうにありますけれども、教科書の後ろに大抵解答などがあります。その解答を全て二次元コード化することによって、教科書のページ数も減っているというような状況もあります。ですので、以前であれば補充問題や、後ろの巻末問題という部分について全て二次元コードで解答があり、解答だけでなく、途中式とか、詳しい説明も載っておりますので、そういう部分で二次元コード化については、生徒にとっても解答を見ることによって自分のペースで学習することもできると思いますし、教職員にとっても、その部分の解答や解説を作る、そして印刷するという、そこの部分の負担軽減についても図られるのではないかというふうには思います。

#### ○副会長

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

#### ○採択委員

小学校の算数は、理科、生活と算数を結びつけるという観点が割と明確ですが、中学校になりますと、どうしても数や式の計算、それから図形等ばかりが学習の中心になって、どうも興味、関心を失うようなところがあったり、数学嫌いが増えたりするという事も聞いたりします。現指導要領では、資料の活用という領域が数学ではあるようですが、数

学的な見方、考え方を暮らしの中に応用するような事例が教科書の中にはひいてありますけれども、その中で、一番興味を引きやすいような教科書はあったのでしょうか、その点をちょっとお聞かせください。

#### ○代表調査員

どの教科書もやはり導入に関しましては、身近なものについて取り上げています。そういう工夫はされているかなというように思います。

あと、数学と世の中のつながり方という部分について、やはり今ではSDGsの問題や、環境問題、防災の問題、そういうものについても各社いろいろな形で取り上げて、数学が身近なところにある、世の中につながっているというところの資料を教科書の途中や巻末に入れて、その辺りはやはり興味、関心を引くような工夫が各社ともされているというような状況だと思います。

#### ○副会長

他にございますでしょうか。

#### ○採択委員

私も小学校の算数から数学というのがやはり子どもたちが数学嫌い、あるいは興味、関心がなく分からないというようなことが増える時代かなというふうに思っております。

そこでやはり子どもたちにより分かりやすく、興味のあるというあたりで、先ほども御質問があったわけですがけれども、例えば1年生の最初の単元でいきますと、正の数、負の数という、非常に身近なものであるにもかかわらず、教科書を開きますと、素因数分解が先に出ていたり、分かりやすさでいえば、数研出版が、もう一回学び直せるように動画配信、動画で見られるという、学び方を学べるというような工夫もされていて、私としては、啓林館と数研出版どちらかと思っていますが、この2社について、分かりやすさ、興味、関心というあたりで比較をされて、結果はどうだったのでしょうか、お願いします。

#### ○代表調査員

調査では、7社ありますので、いろいろ話をしましたが、今2社に関してということでお話をされましたので、それについてお話をさせていただきたいと思っています。

特にその2社に関しましては、物事を深く考える問題解決のステップの仕方が少しタイプが違うかなと思います。啓林館につきましては、問題解決のステップとして、必ずスリーステップで問題の設定がされています。問題設定、見通し、問題解決、問題を広げて深める、おおよそこういうステップで、どの単元についてもスリーステップで問題を深めていくという形になっています。一方、数研出版につきましては、そういう明確なステップというよりは、キャラクターがたくさんいて、そのキャラクター同士の会話の中で物事の問題解決についていろいろしゃべることによって深めていくというようになっておりますので、取り組み方が少し大きく変わるかなと思います。

その辺りもいろいろ実情あると思いますが、話している中では、常にスリーステップで決まっている、どの単元になっても決まっているというほうが生徒もパターン化されて、

分かりやすく考えていけるのではないかという意見もあれば、キャラクターの部分については会話で進んでいきますので、今の子どもたちについては漫画を読むので、そういうふうに読むことによって深めていくという考え方もやりやすいのかなというような話が調査員の中では出ておりました。

#### ○副会長

他にございませんでしょうか。

#### ○採択委員

今、説明を聞きましたが、結局どちらがふさわしいのかというところがある。観点を変えて、かつてはトーク・アンド・チョークで授業をされていた先生もたくさんおられると思うが、今はそうではない。いわゆる対話できる、あるいは協働的な学習ということで、今グループ学習をされているところが多くございます。グループ学習をする際にどうなのか。そして、その結果として、発表や説明を子どもたちがするという、こういうことについてどうなのか。言えば発信力をつけていくということですね。そういったグループ学習をするということを前提に置いたときにふさわしい教科書というのはどういうふうに議論されてきたのかというのをお願いしたいと思います。

#### ○代表調査員

発信するという部分についての協議はあまり言葉としては出ていないですけども、物事をどのように考えていくか、深めていくかというところについて、思考力や表現力、判断力というあたりについては話しました。その中で、やはりステップの仕方が各会社によって非常に違いますので、それをどこがいいかという議論はしていませんが、各社によっていろんな取り組み方があるなというような話はしました。あとはそこで、教員が、教科書はあくまでも教科を教える道具であって、教科書を教えるのではなくて、教科書で教えるというふうに思いますので、その話合いの仕方の部分については、やはり教員の持っていく方かなというふうには感じます。

#### ○副会長

他にどうでしょうか。

#### ○採択委員

これは数学に限ったことではないと思いますが、数学は特にということで質問させていただきます。協働的な学びをしたり、授業を聞いていて、そのときは分かったつもり、理解したつもりでも、家に帰ったときに十分理解できていない、そういうことも多々あると思います。そういうときに、家で教科書を使って学んだときに、それぞれこの7社の教科書で十分家庭学習ができるのかというところがありますが、どの教科書がそういう部分の配慮がされているかというところがあれば教えていただきたいと思います。

#### ○代表調査員

どの教科書についても、普通教科書には、教科書の中に問いがあって、問題練習、その後には補充問題がありますけれども、家に帰った前提でいいますと、やはり学校で話を聞いて

たけれども、ちょっと分からないということについては、やはり振り返りの例とか例題、その辺りをもう一回考える必要、思い出す、繰り返し解く必要があるかなと思います。そういう中では、この7社の中に、その例題や例について動画で説明している会社もありますので、それを二次元コードで読んで、そこをもう一回家へ帰って見ることによって、授業での復習で、「こうやったな」ということが、特にやり方も忘れてしまった子には非常に有効的かなと思います。

#### ○採択委員

全て共通。

#### ○代表調査員

全ての教科書にはなかったです。数社ありました。

#### ○採択委員

今おっしゃった点は、非常に大事で、例えばなかなか学校に来られない子どもたちが、数学は積み重ねの教科ですから、1日学校を休んだときなんか、そういう例題の動画であるというと思う。まず1点、具体的に例題の動画が掲載されている教科書は、どこなのかということと、もう1点、先ほどの説明の中で、振り返りの例文がついているという、啓林館にはついているということで、やましろスタンダードの点からいきますと、やはり振り返りは非常に大切であると授業でも指導しているところですけども、そういう意味では、この例文のついている振り返りがある啓林館の教科書というのは、やはり山城の子どもたちにとって非常にやりやすいのか、逆にその例文があることでやりにくいのか、その辺りはいかがでしょうか。

#### ○代表調査員

まず、1点目の例題の解説の動画という点では、教科書の二次元コードに、啓林館の教科書はございました。あと、ホームページ上だったと思いますけれども、数研出版や、大日本図書もホームページ上にはあったかなというふうに考えています。

あと、もう一つの御質問の振り返りについては、普通授業で振り返りましようと言っても、短文で書いてしまうことが非常に多いですが、啓林館については指導上の例で書いてあったので、どんなことが分かったのか、また、それは次どのように活用していきたいとか、次どのように学んでいきたいという部分についての例題が載せてあるので、生徒にとっては、教師が書きなさいと言うだけではなくて、それを見ると、「こういうふうには書けばいいのか」というのが分かりやすいかなというふうに思いました。

#### ○副会長

他によろしいでしょうか。

ないようですので、ここで代表調査員には一旦退席いただきます。また必要があれば再度入室していただくので、よろしくをお願いします。

(代表調査員 退室)

#### ○副会長

それでは、数学について協議させていただきます。意見等、よろしくお願いたします。

**○採択委員** 先ほど代表調査員、また各市町の委員からお話を聞かせていただきまして、やはり子どもたちが分からないときに助けてもらえる、そういう手段があるということが、それがまた二次元コードですぐ出てくる点、また、二次元コードでたくさん問題が出てくる点、それから、重たくない、ページ数が少ない点、その辺りから考えまして、啓林館がよいのではないかというふうに考えます。

**○副会長**

他によろしいでしょうか。

それでは、数学につきましては、啓林館でどうかという御意見がございました。つきましては、啓林館でお諮りをしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、数学につきましては、啓林館を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

**○副会長**

全員一致して御賛同いただきましたので、数学につきましては、啓林館を山城地区として共同採択することとします。

それでは、次に、理科の教科用図書の採択を行います。理科の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

**○副会長**

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力をいただき、ありがとうございます。それでは、調査研究の結果について御報告をお願いいたします。

**○代表調査員**

最初に、理科においては5社の報告となりますけれども、大日本図書については、現行のままの教科書となっております。

では、採択基準、基本観点に沿って、順に簡単に報告させていただきます。

採択基準1の基本観点(1)全体としての特徴や創意工夫につきましては、どの発行者のものも学習指導要領に示す目標が達成できるように、エネルギー、粒子、生命、地球の領域をバランスよく構成し、全体を通して探求的な学びを進めることを重点に置いています。

I C Tの利活用につきましては、どの発行者も二次元コードを取り入れて、タブレット端末があれば、見たいときにすぐに実験や学習をサポートする動画等が活用できるようになっています。

ただ、発行者によっては、内容や量に違いが見られました。大日本図書、学校図書、教育出版のように資料映像が主なものや、東京書籍や啓林館のようにウェブアプリ、演習問題やワークシートなど、生徒自身による操作や記録が可能な多数のコンテンツにも接続で

きるものもありました。また、学校図書のように全ての教科書の誌面がウェブサイトにも再構築されているものもありました。利活用の目的や教員の指導力、指導方法等によって使い勝手が違ってくると思われます。

写真は、どこも資料性が高く、鮮明なものが選択され、学習意欲を高める工夫がされていると思われます。

採択基準2の基本観点(1)基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮につきましては、どの発行者のものも随所で既習事項を振り返ることができ、章末や単元末では、学習内容の定着を図るため、大日本図書では章の途中に計算問題の例題を示し、学校図書では巻末に読解力強化問題や入試問題を掲載、教育出版では小単元、単元末、巻末にステップを分けた問題を、東京書籍や啓林館では二次元コードによる繰り返し学習ができるようにしているようなものが特徴かと思われます。啓林館は、動画による問題も掲載していました。

採択基準2の基本観点(2)の思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮としては、本編内等において生徒の興味、関心を高める工夫の他、東京書籍では生徒自らが規則性を見いだせる工夫、大日本図書、学校図書、教育出版では生徒自ら課題を見いだせる工夫、啓林館では生徒の探求意欲を高める工夫がされていると考えます。また、東京書籍と啓林館については、課題解決的な学びのための振り返りができるような学習活動が設定されていると考えております。

採択基準2の基本観点(3)生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮につきましては、どの発行者も対話的な学習の場を設けるとともに、適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の方法や具体例を示す工夫がされていると思います。特に啓林館については、各巻末に観察、実験などを通した探求学習を生徒一人一人が主体的に行えるように、切り取り可能なシートを配置しているのが特徴と思われます。

採択基準2の基本観点(4)学習指導要領に示していない内容の取扱い、同じく基本観点(5)他の教科等の関連につきましては、どの発行者もそれぞれ同じように工夫されているように思います。今日的な課題、防災やSDGs、ESD、STEAM等は3年の最終単元で、発展、他教科の明示、それと算数、数学について例題で解説しているものは啓林館と教育出版というのが特徴でした。

採択基準3の基本観点(1)表記・表現の工夫につきましては、どの発行者も配色、フォント、レイアウトなど、ユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っていると思います。また、発達段階や学年移行を考慮し、文字の大きさを変更する工夫も行っています。全体的な配色、図や写真、絵と本文の割合が適切な読みやすさは啓林館の特徴であったかなというふうに思います。

以上、理科の教科用図書に係る調査の報告とさせていただきます。

## ○副会長

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告につきまして、質問をよ

ろしくお願いいたします。

### ○採択委員

今はこういう時代で、今日も大変暑い日なのですが、予測不可能な時代にどんどん入っていているというふうに誰しもが思っている時代だと思います。そうすると、その事象が発生したときに、即座に対応する能力が今以上にこれからの子どもたちには求められるのかなというふうに感じているところです。

そういうことを考えますと、理科という教科は我々の一般社会や、何か物事を経営するときの手法と似ているなということをよく感じます。例えば何かをやるときには、必ず目標があります。現実の問題があります。その目標と現実の問題との差が課題という形で出てくるわけです。その課題に対して解決して、最後、いろんなことを営んでいくということですが、まさにその考え方がこの理科の観察とか実験とか、教科の学習とかということに非常によく似ている。つまり何を学ぶのか、それを学ぶためにどうすればいいのか、どうするのか、そのことによって最終何を学んだかということにつながっていくわけです。

そうしますと、この現実の課題解決の仕方が、今御説明いただいた教科、理科の学び方と似ているところがあると思いますが、このような展開の仕方をされている教科書、もちろん複数でも結構ですし、また、この会社はそういう形に非常によくなっているというお答えでも結構ですけれども、それがまず1点です。幾つかありますので、分けていきます。

2つ目、教科書というのは、まず子どもにとって分かりやすい。それから、時には、今いろんな状況がありますので、なかなか学校へ来られない子もたくさんおります。そういうときに、分かりやすく、自らの力で学べる教科書、これが今の教科書かなと思います。一方、指導者にとっては、これは昔も今も変わらないと思いますが、指導しやすく使いやすい教科書。今聞きました、子どもにとって分かりやすい教科書はどこの会社なのか、指導者にとって指導しやすい教科書はどこの教科書なのか、これもお答え願いたい。

さらに、子どもと指導者、この2つの最大公約数的に考えて編さんされている教科書はどこなのかいう、まず2点についてお答え願えたらありがたい。あと4点ほどありますので、また後でお聞きします。

### ○代表調査員

何があるか分からない時代においてということ、考え方、教科にしますと、探求学習というのがそれに当たるのかなというふうに思います。その観点で考えますと、それぞれの発行者において、今回の採択で、東京書籍でしたら8段階の探求を考えています。大日本図書は別ですけれども、学校図書では10段階、教育出版では7段階、啓林館では8段階の探求、最初の疑問から、課題、そして仮説、計画をして、実験、観察をして、結果、考察、そして自分で考えをまとめて次に活用していく、もしくは振り返って学び方の変更等を加えながら次に生かすというようなことで考えますと、どの教科書もその考えはいけるのではないかなというふうには考えております。大日本図書は以前のままということですので、それ以外というふうには考えます。

それから、後者の、子どもにとって、指導者にとってというあたりですけれども、指導者にとってやはり選択しやすい、教えやすい教科書というのは、今採択されている啓林館ではないかな。やはりバランスの面においては啓林館が整っているように考えますし、経験のある者も経験の浅い者もこの教科書を使って指導するということができるのではないかなというふうには思います。

一方、東京書籍に関しては、やはり規則性を見いだせるというような、考えさせるようなことが多くありますので、非常に内容も盛りだくさんですし、教えるということに関しては、なかなか技量、力量が要るのかなというふうに考えます。

生徒にとってみましては、どの発行者でもそれぞれ二次元コード等を利用して学習を進められる、個別最適な学びということができるのではないかなというふうには考えます。以上です。

#### ○採択委員

最大公約数的に考えると。

#### ○代表調査員

最大公約数的に考えると、今使っている教科書だと考えます。

#### ○採択委員

3点目についてお伺いします。理科は他の教科との関連がすごく多い教科であります。例えば地理の問題、地質学とか、そういうことになりますと、まさに地理との関係が深いですし、美術との関係もありますし、技術・家庭は本当にたくさんところで関係があります。生き方ということにつきましては、道徳とも非常に関係する。

そこで、一番大きく関係するのが実は数学、算数ですね。この力がないと、なかなか理科が学びにくいところがあります。そうすると、理科の時間で、現実の問題で、理科の時間で数学を指導しなければならないことがあるのではないかなというふうに思うわけですが、とりわけ算数、数学は密接な関係がありますので、そうすると、このことを考えたときに、各社の中で、理科の教科書の中で算数、数学との関係をより分かりやすく記載されている教科書の会社はどこか。さっきも言いましたが、単数でも複数でも結構ですので、これを教えてください。それが1点。

もう一つは、先ほど理科の実験の問題がありました。実験、観察を、これ3学年全部計算しますと、格差がすごく大きいです。一番大きいところでは学校図書の88時間、一番少ないところで教育出版の65時間。他の3社はその間ですけれども、それが一つありますので、年間の3学年の授業時数は決まっているので、その決まった時数の中でこれだけ差があるのかなと改めて思いましたが、そこで先生の御意見をお伺いしたい。これ一体、1時間実験、観察しますと、最低1時間要りますので、そのことを考えたら、この実験、観察等と普通の授業との関連はどうなのかということを知る範囲でお答え願いたい。

それから、デジタルコンテンツについては先ほどもありましたように、これもすごい格差です。少ないところは68コンテンツ、多いところは580コンテンツがあります。こ

の格差は一体何なのか。この時代において、一般的になってきていますがけれども、これはちょっと考えさせられました。もし御意見等ございましたらお願いします。

最後になりますが、各社の特徴を今お聞きしましたが、その中で、理科も他の教科もそうですが、用語解説が大変重要になってきます。この用語解説もすごい格差ありまして、少ないところは東京書籍の440、一番多いところで、啓林館が757という用語解説があります。このことについても御説明願えたらというふうに思います。以上です。

#### ○代表調査員

まず、算数、数学との関連についてですけれども、評価基準の2の(5)にも少し触れてはいますが、やはり計算問題というのは理科では不可欠なところがあります。例題を出しながら解説しているのが教育出版と啓林館、この2社であったと思います。

それから、ちょっと順番は前後しますが、用語解説については、なぜそうなっているかは私には分かりかねますが、やはり索引数、一番教科書の最後に書いてある用語も啓林館が一番多かったというふうに思いますので、生徒は言葉が分からないところを調べられる準備がされているのかなというふうに思います。

それから、デジタルコンテンツの格差ですけれども、先ほども内容と量に違いがあるというふうにも申しあげましたけれども、やはり全てにおいてデジタルコンテンツで説明できるようにしているところと、実験、観察の実験器具の説明であったり、それから資料映像であったり、いわゆる絞っているところとの違いかなというふうに思いますので、それが全て教科書の中でもあるけれども、使うか使わないかはやはり教師の力量によるのかなというふうには考えるところです。

それから、実験に関しての時数という話、これは分かりかねますが、実験が多いとなかなか授業時数にははまらないということがあると思います。1年生現行ですと、週3時間、105時間ということを考えますと、なかなか多い実験数のところでは対応できないかなと。教師が少ない人数の中でクラスを持つということで、同じ時期に同じ実験が重なると、なかなか現実的には厳しいかなというふうには考えるところです。以上です。

#### ○採択委員

教科書を見ていく場合、いろんな切り口があると思うんですけれども、一応私は物質学習と化学変化という観点で見ていきたいなというふうに思います。なぜそれを選んだかというと、子どもの理解が非常に難しく、理科嫌いがそこで生じる場合が多いと思った訳です。

小学校で物質学習が始まって、そしていわゆる状態学習とか、重さとか、いろいろ学習していきますよね、三態変化を教えると。小学校5、6年で、いわゆる熱分解によって物質の世界が広がっていく。6年では、今度は合成までやっていくということを小学校で学んでいます。中学校に入ったら、金属学習ですよ。なぜ金属をするかということ、いわゆる単体、それが違うものになった場合、金属の性質を失うことによって違う物質になったということを分かりやすくするためにそれを学習しているわけです。そういうことを学んで、

一応1年生ではもう復習的なそういうような部分を、三態変化もやっている。2年になると、いわゆる熱分解から始まって、それから、電気分解、粒子の概念、それから分子、原子というふうに進んで、元素記号、周期律、それから化学式と物質界が一遍に広がっていくわけですね。本当にもう広がり過ぎて分からなくなるというふうなところになってくると思います。3年にさらにイオンが入ってくる。そうなってくると、もうこの辺でつまづく子が非常に多くなって来る。これはどうしても学ばなければならない課程だとは思いますが、ここをどう乗り切るかによって、いわゆる教科書の値打ちが変わってくると私は思っています。

教科書を見ていくと、大概、さっき言ったように単体、それから炭酸ナトリウムの分解、熱分解がある。これはもうほとんどの教科書がそうになっていますね。だから、それについてあんまり差はない。そうすると、いわゆる持っていき方とか、そういう教科書の編集の仕方によって、子どもにとって分かりやすいとか、そういうふうに出てくるというように思っています。

そこで、5つの教科書を比べたときに、今言ったような物質界の広がりとともに、思考がなかなかついていけない子どもたちにより分かりやすく、そういう工夫をしている教科書はどこか、また、どのようにされているのか、その辺りを教えていただけたらというふうに思っております。

#### ○代表調査員

確かに目に見える形の事象から目に見えない原子や、そしてイオンという形で、今おっしゃったとおり、なかなか子どもの思考が追いつかないところはありますが、各社やはりモデルで示しながら、その現象を説明するように、モデルで示す場合も、手で描くのではなく、アプリを使ってこの原子同士を組み合わせると化合物がこうできているというような形で示したりと、どの発行者に関してもさほど差はないというふうに考えております。

#### ○採択委員

5つの教科書を見せていただいたところ、どの教科書も資料、つまり図、写真、グラフが6割から7割、その中に、4割から3割程度が解説、説明というふうになっていますが、各社によってそのバランスが、非常にうまくバランスを取れている会社と、ちぐはぐというか、分かりにくい解説をしている会社の中を見ても分かります。会議の中で、そういうバランス、資料と解説、あるいは説明とのバランスができていないかという議論はされましたか。

#### ○代表調査員

細かな図がどうである、写真がどうであるということは、なかなか議論できていませんが、全体のイメージとして、やはりバランスが取れているとか、すごく密集して見にくいなというようなことは議論をさせていただきました。

#### ○採択委員

そのバランスの取れている教科書会社名、もしよければ教えてください。

### ○代表調査員

先ほども申し上げましたとおり、全体的な配色、図や写真、文章のバランスが取れているのが今使っている啓林館の教科書というふうに考えております。

### ○副会長

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

### ○採択委員

先ほど社会の公民的分野でも、要するに義務教育の最終段階で、中学3年生の最後の単元で課題、探求学習があるという教科書会社がありました。この理科においてもやはり中学校3年間、あるいは小・中の義務教育最後に、そのような探求的な学習のまとめがはっきりと意識できるような教科書会社はございますでしょうか。

### ○代表調査員

理科におきましては、全般において探求を進めていくという形ですので、学年末という形で示すということはなかったと思います。最後に、資料として探求的な学習を進めるようなものがついている教科書会社はあります。以上です。

### ○副会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

他にないようでございますので、ここで代表調査員には一旦退席いただきます。また必要があれば再度入室していただきますので、よろしく願いいたします。

(代表調査員 退室)

### ○副会長

それでは、理科について協議をさせていただきます。御意見、よろしく願いいたします。

### ○採択委員

今お聞きしましたように、理科という教科で、その組み立て方といいますか、それについて一番バランスが取れているという部分で3社あげていただきました。

それから、教科書そのものは子どもにとっては全ての会社で使いやすいということでした。指導者にとっては、今現行使っているということもあろうとは思いますが、啓林館が使いやすいということです。何より思いましたのは、やはり算数、数学との関連ですね。これがきちんと理科と図れているというところ、これは大きいかなと。

それから、実験、観察につきましても、本当に適度な量です。学校図書が88時間、教育出版は65時間です。ところが啓林館が74時間で、東京書籍、大日本図書は70時間ぐらいで、バランスの取れた時間数というふうに感じましたし、説明もその説明でした。

それから、用語も大事で、まずその言葉が分からないと物事が進まないということがありまして、それが啓林館の場合は757という膨大な量、少ないところの倍ぐらいありまして、非常に分かりやすく書いているという理解をしましたので、全体を通して、いろんな観点から見て、啓林館が一番ふさわしいかなというふうに感じました。

## ○副会長

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

それでは、理科につきましては、啓林館でどうかという御意見がございました。つきましては、啓林館でお諮りをしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、理科につきましては、啓林館を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

## ○副会長

それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、理科については、啓林館を山城地区として共同採択することといたします。

それでは、次に、音楽・器楽の教科用図書の採択を行います。音楽・器楽の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

## ○副会長

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力をいただき、ありがとうございます。それでは、調査研究の結果について御報告をお願いいたします。

## ○代表調査員

音楽については、音楽と器楽という2つの教科書について調査をいたしました。全体的な特徴や創意工夫については、2社しかないのですが、どちらもという表現を使いますが、どちらの教科書も学習指導要領の示す音楽科の目標に従って、特に生活や社会の中の音楽に結びつけたような形で大変適切に表現がされておりました。題材の狙いを明確に示していると思われま。

教育出版については、「学習MAP」というようなくくりで、歌唱、鑑賞、創作について分類をして、資質、能力、3つの柱と題材目標、教材、共通事項を軸とした学習の進め方を関連づけて示しておりました。教育芸術社については、同じく「学びの地図」というような表し方で、同じように表現をされています。

歌唱の共通教材については、教育出版は「日本の歌みんなの歌」、教育芸術社は「心の歌」で、これからも歌い継いでいきたい歌というふうな形で示しておりました。

同じように器楽ですけれども、器楽も、どちらの教科書についても学習指導要領に示す目標に従って、しっかりと題材の狙いを明確に示してあります。器楽教材とともに、歌唱教材や鑑賞の教材と創作教材との関連をつけながら、いろいろな教材が組み込まれていて、大変幅広い教材が使われておりました。それから、楽器特有の奏法、それから所作まできちんと明確に示されているなというふうに感じました。

内容や構成が学習指導を進める上で適正であることという部分について、(1)基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮としては、教育出版については、楽典、記号とか、そういった発想標語なども、右ページの下に統一して記載がされています。同じ

く教育芸術社については、右ページの上に同じように記載されています。教育芸術社については、着目する音楽を形づくっている要素というの併せて左下に記載してありました。

それから、教育出版について、「音のスケッチ」、教育芸術社については、「My Melody」、「Let's Create!」と、創作の学習について学ぶようなくくりがされております。それから、教育出版については、「Sing! Sing!」、「Active!」、「Let's Try!」、それから教育芸術社については「学びのコンパス」というようなくくりで、発声、それから指揮法、生活と根差した音楽についてなど、日頃生活していく上での音楽と結びつくような部分について、事細かに記されておりました。

どちらもキャラクターの吹き出しによって、生徒が興味、関心を示しやすく、どのような疑問を持っているかというようなヒントになることが示されていますので、学習の上では基本的なことが身につけやすいような工夫がされているなというふうに感じました。

同じく器楽も、「楽典」や、「音楽の約束」という同じような表記がされていたり、創作についても、「音のスケッチ」、「My Melody」と同じ名前でもくられているので、教科書と器楽の教科書とを同じように進める上でも大変整合性が取れていて、使いやすいなというふうに感じました。

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫ということで、根拠を持って自分の意見が言えるとか、協働的な学習で生徒同士が学びを高め合っていく上で、言語活動の充実というところにもどちらも力を入れていました。子どもたちが教科書の内容に沿って学習をしていくと、自然に導いてもらえるような質問や、ワークシートが工夫されていて、大変分かりやすく学習していく手だてとなっていました。先ほどと同じようにキャラクターの吹き出しも有効に使われています。

それから、教育出版では、「比べてみよう」というマークがありまして、これは教育出版独自のものです。比較をする上で分かりやすい印だと感じました。同じく器楽でも言語活動の充実ということで、鑑賞したときに、根拠を持ってその曲のよさや、形づくっている要素が説明できるような工夫がされていました。

(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮としまして、教育出版は、先ほどから出ている「Active!」、それから教育芸術社は「学びのコンパス」で、学習しやすい、自分たちで自ら学習ができるようなキャラクターの吹き出しの質問等を使いながら、工夫がされていました。それから、生活や暮らしに結びつけることはたくさん表記がされていて、日常の中で、生涯にわたって音楽を愛好する上での多くのヒント、暮らしを豊かにする音楽という意味でも、大変力が入れているかなというふうに感じました。

それから、二次元コードがかなり使われていますが、個別最適な学習という意味でも、自ら、教科書さえあれば学習ができるというような工夫がされているなと思いました。

同じく器楽についても、リコーダーや、それからギターと、生徒が興味を持った時点で

自学自習ができる、主体的に学んでいけるような工夫がされています。それについても個別最適な学習ということで、個別に自分の今の実技の技能に沿った学習ができる工夫がされていました。

(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱いについては、こちらも発展的な学習として、学習指導要領以上の内容についての記載が幾つかされています。教育出版では、例えば「音の三要素」、中学校段階では習う内容ではありませんが、さらに深めていくための説明や、「作曲家の生きた時代」などが示されていました。

教育芸術社については、「この頃、日本では・・・!？」として、日本と西洋音楽を比較する部分や、「Hey Jude」というポップス系の音楽、それから能という日本の伝統芸能など、発展的な学習の内容について目を引くようなものが示されていました。

同じく器楽の教科書でも発展的な内容を扱い、いろいろな表現を工夫できるようなものや、それから唱歌、口頭で伝わってきた音楽、日本の伝統芸能で伝わってきたものもここに含まれて、学習ができるように示されており、学習指導要領以上のものが発展的に記されています。

(5) 他の教科等の関連です。一番は道徳との関連で、友情や、中学校生活や、友達と共に過ごす中でいろいろと培っていくものが音楽を通じて高め合っていけるような、そういう内容が記載されていました。

それから、知的財産、著作権など、これから社会に出たときに守らなければいけないルールや、音楽業界でいろいろ課題になっていることにも触れられていました。

それから、特に多いのは、英語での歌唱、英語の表記の歌唱が多く取り入れられていたり、日本の古くからの音楽だけではなく、アジアの音楽や、世界の音楽など、教材の中で歴史や、地理など、関連するものもたくさん含まれていました。

それから、音楽の大きな特徴として、子どもたちがよく知っている著名な方のメッセージが記載されていて、それについて子どもたちがいろいろ感じ取りながら、自分に置き換えて学ぶような工夫がされていました。

SDGsについても、どちらの教科書にも記載はあり、持続可能な社会の中で音楽をどのように自分で取り組んでいくのかというような問いかけもされているように感じました。

器楽についても、アンサンブル活動を通じて、お互いに合わせながら学習をする中で、他の教科の内容などを考えさせながら学習できるような教材が複数含まれていました。

それから、教育芸術社については、「姿勢と礼儀」ということで、礼儀についても記されている部分がありました。

表記・表現の工夫については、大変色鮮やかで、大変見やすい教科書だなというふうに思っています。昔の教科書と違って、A B判という少し大きな教科書で、見開きのページがあって、一目見ただけで興味をそそって学習できるような工夫がされていたり、ページをめくらなくても、1ページを見るだけで楽譜が一目で見られる工夫がされています。

それから、最初に申し上げた音楽の基本である「楽典」や、「音楽の約束」についても

まとめてあり、後から復習や、予習ができるようなページが設けられていました。

教育芸術社については、二次元コードで楽曲の音源、合唱コンクール等で伴奏の音楽が流れたり、パート別の音の音取りという、音程を取るような練習ができるようなものも挿入されており、表現の上では大変工夫がされているというふうに感じました。

器楽でも二次元コードが多数、動画や、説明で示されているので、今までなら音楽辞典みたいなものがあったらいいかなというところがありますが、いろいろなことが教科書だけで学べる工夫がされているというふうに感じました。以上です。

### ○副会長

ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告について、音楽・器楽、両方総じてというふうになりますけど、質問をよろしくお願いします。

### ○採択委員

私も音楽については素人でございまして、今日、調査員の専門の御見解をお聞きしながら考えたいと思って、今お聞きしております。

2社ですので、お互いが非常によく研究されたんだというふうに思います。いいところを取り入れて、本当に遜色のない、お互いにレベルの高い切磋琢磨をされているという様子が分かりました。

しかしながら、音楽という教科は、知識、技能という点、やはり体を使って、身をもって、あるいは人と共に心を通わせて云々と、こういうアクティビティ、活動面での御指導、あるいは子どもの育ちというようなものが中心になってくるんだろうなというふうに思います。

特に、創作については、一番求められているところ。しかもその中に、現代的なデジタルツールが入ってきた、そういう指導が入っている。この辺りをどのように考えたらいいのかなというところをお教えいただきたいと思います。特に作曲等に取り入れられておりますね。

それから、主体的に順序立てて身につけていくことができるように工夫されてるのはどちらなのかと、先ほどの点がもしありましたらお教えいただきたいと思います。

それから、歌うほうも同じでしょうけれども、器楽につきましては、どちらかというところ、できる、できないがはっきり出てくると思います。家で練習してこいと言われても、なかなかその差がついてしまうというところもありますので、つまずきが起こったときにどちらのほうの方がより丁寧に説明されているのか、もし違いがあるようでしたらお教えいただきたいと思います。

それから、先ほど器楽でリコーダーとギターとおっしゃって、一番身近な器楽だと思うわけですが、こちらのあたりで、特に今はつまずき、克服、あるいは丁寧な説明、この音楽の本があればいつでも何とか克服できると、自学自習の面もおっしゃいましたので、このあたりの違いについてどちらがより優れているのか。

それから、社会とのつながりや日常的な関連ということも先ほど御説明の中であったわ

けですが、あわせて、生涯学習的な観点で、この音楽というのは、義務教育最後の段階でリコーダーぐらいは1曲何か吹けると、それが将来寂しくなったときに自分で楽しめるというんでしょうか、何かそういうような生涯学習につながるような観点で、両社の違い、工夫されている点があるのかどうかですね。

それから、両社の哲学的な、思想的な、そういう一番強調されている点での違い。自分の教科書で、特にこれは特徴だというふうに強調されている点で違いがあるのかどうかですね。特にこの辺りの点についてお教えいただければありがたいと思います。

### ○代表調査員

調査員の感触として一番思っているのは、子どもたちがすぐに活用ができる教材ということで、二次元コードのデジタル化というのは、音楽科にとっては大変画期的なもので、今までは教師が自作で作っていたものが教科書の二次元コードを読めば、それが出てくるという部分については、本当にありがたい教科書になってきたなというふうに感じています。

その中でも、特に教育芸術社の「カラピアノ」、合唱用の、これは私たちが昔から自分で伴奏を録音し、歌を録音して作ってきて、それを使って指導してきた合唱のツールとして、それがそのまま教科書で自学自習ができる。もちろん今はユーチューブ等を見るとそういったものがありますけれども、教科書を見て、タブレット端末で、それを照らすとすぐに出てくるというのは、自学自習のためにも便利であるし、私たちの指導においてもぶれない指導ができるので、大変ありがたいというふうに思っています。

それから、創作活動についても、今までは楽譜が書けないと創作ができないということで、楽譜を書かせるために本当に細かく順序立てた指導をずっと積み重ねをしてきましたが、今は楽譜が書けなくても、感覚で音楽が作れたり、自分の表現したい思いがそのまま音になって表現できる工夫がどちらもされています。それについてもデジタルのたけたところだと思えますが、どちらかというところ、創作は今までちょっと横に置いておいて、歌を歌って器楽を楽しんでということが中心になっておりますけれども、子どもたちの興味についても、創作については最近の教科書を使うことによって意欲が高まってきていて、本当にびっくりするような音楽を作るので、それについてもこのキャラクターの導きや、その中に入っている音源などがとても左右しているのかなというふうに思ったりします。

二次元コードの音源について、調査員会議で出ていたのは、そういった部分や、唱歌とか、昔からの伝統の音楽を口歌いで伝えていきたいときに、この曲にそれがあつたらいいねとか、この創作でこういうことができたらいいいねという、かゆいところに手が届く、そういう工夫については、調査員会議では、教育芸術社のほうが使いやすいという意見が出ていました。

最初おっしゃられたように2社ですので、どちらも本当に力を入れられていて、教育出版は、先ほどの、こちらにしかない「比べてみよう」というところや、音楽を形づくっている要素を円の形で表現をしており、その部分については、教育出版社のほうが分かりや

すいなと思います。

ただ、音楽を形づくっている要素、どこに着目するかというのを教師が選ばなければならないのですが、教育芸術社は、各ページの左下に、着目するとよい、音楽をつくっている要素を示してくれているので、その部分では、教育芸術社のほうが、どの教師が教えてもぶれずにその教材で一番ふさわしい要素を子どもたちに示して指導することができるのかなと、調査員会議では意見が出ていました。

#### ○副会長

ありがとうございます。他ございませんでしょうか。

#### ○採択委員

やはり「カラピアノ」もあるということで、子どもたちが歌いたいと思える教材が準備されて、どちらが、特徴があったかなというあたりで少しだけ教えていただけたらと思います。

#### ○代表調査員

どちらも新しい教材を新しく入れてきていますし、やはり歌いやすい音域で子どもたちが楽しんで歌える曲で、それについてあまり差はないです。曲数については、教育出版のほうが若干多いかもしれないです。その辺りはあまり差がないというのが正直なところです。

#### ○副会長

ありがとうございました。よろしいでしょうか。

それでは、ここで代表調査員には一旦退席いただきます。また必要があれば再度入室いただきますので、よろしく願いいたします。

(代表調査員 退室)

#### ○副会長

それでは、音楽・器楽につきまして協議をさせていただきます。意見をよろしく願いいたします。

#### ○採択委員

違いが明確に分かりづらいところでもありますけれども、使われる現場の方が一番使いやすいものを選んでいただくというのが正直なところだと思いますし、従来 of 踏襲ということで、特に大きな優劣がないのであれば、それで問題ないのではないかなというふうに思います。

それから、専門的なものは抜きにして、両社の違いが歴然としているのは、巻頭部分ですね。一番何を、誰を持ってきて、この音楽の方向性を示したいかというときに、教育芸術社を今使用しているので、そちらを中心に申し上げますと、教育芸術社の1年生に、俳優の上白石萌音さん、舞台に立って、今活躍されておりますけれども、中学時代の自分の体験から捉えられている。それから宇宙飛行士の野口聡一さんですね。2、3年生の上では松本幸四郎さん、市川染五郎さん、歌舞伎役者です。それから、2、3年生の下では、

ピアニストの反田さん、あるいはアートディレクター、森本千絵さんを出されております。一方、教育出版は、ピアニストの角野隼斗さん。音源分離を研究されている方ですね。それから笙の奏者、宮田まゆみさん。器楽の専門家です。それからルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン、耳が聞こえないという生涯についての「運命」の冒頭部分を示されている。それから指揮者の大野和士さん。あと滝廉太郎は歌詞との関係で外国語を訳すとなかなか日本語の音楽と違和感がある、こういう説明です。

少し表面的な説明になりましたけれども、教育芸術社のほうがいろいろな多様性のある人、必ずしも音楽の専門家でない方、中学校での自分の体験を通してメッセージを伝えている。生き方、在り方、自分の進路につながる点を述べられている。こういった点が特に違いとして、子どもたちにとっては説得力があり、共感力を持ち、親しみやすさも覚えるのではないかなというふうに感じました。

#### ○副会長

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

それでは、音楽・器楽につきまして、教育芸術社ということで御意見がございました。つきましては、別々にお諮りしたいと思います。

まずは、音楽につきましては、教育芸術社で共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

#### ○副会長

全員一致ということで賛同いただきましたので、音楽につきまして、教育芸術社を山城地区として共同採択することといたします。

続きまして、器楽につきまして、教育芸術社を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

#### ○副会長

それでは、全員一致ということで賛同いただきましたので、器楽につきまして、教育芸術社を山城地区として共同採択することといたします。

それでは、次に、美術の教科用図書の採択を行います。美術の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

#### ○副会長

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力をいただき、ありがとうございます。それでは、調査研究の結果について報告をお願いいたします。

#### ○代表調査員

中学校美術に関しては、令和7年度の教科書は、3社あったわけですが、その3社について、特徴的な部分を報告させていただきます。

基本的に観点に沿いながら、各社の特徴的な部分をお伝えしていこうと思いますが、まず1つ目、全体としての特徴や創意工夫という部分について、1社目の開隆堂に関しては、まず、教科書自体が1年生と2・3年生の2冊構成となっております。それぞれの題材を絵や彫刻など、そしてデザインや工芸など、そして学びの資料、この3つの視点で分類して、それらの学習の流れや学習内容が書かれております。この開隆堂に関しては、興味、関心を持てるように魅力的な表紙、質感などが工夫をされておりました。また、教科書は、生徒と先生のキャラクターを掲載させることで親しみを感じさせるような工夫もなされておりました。

2社目の光村図書の教科書は、美術の1年生と2・3年生に加えて、美術1資料という資料や、技術の説明を1冊にまとめた資料、この3部構成となっております。内容に関しては、先ほどと同じく、絵や彫刻など、デザインや工芸など、そして学びを支える資料、この3つの視点で分類をされており、その中で、表現の題材と鑑賞活動の題材が分かるように、マークなどを工夫されながら表示されておりました。そして、特に美術の2・3年の教科書では、和紙風の用紙が採用されており、日本の絵画を楽しむ五つのキーワードや、いろいろな日本美術に焦点を当てた鑑賞が設定されており、和紙風の用紙など、手触りも含めた工夫がなされておりました。そして、先ほども言いましたが、別冊の資料は、中学校3年間に必要な資料がコンパクトにまとめられており、非常に分かりやすい内容になっておりました。

次に、3社目の日本文教出版は、1年生と2・3年生の上、そして2・3年生の下と、教科書が3冊構成となっております。それぞれの内容、オリエンテーション、絵や彫刻、そしてデザインや工芸など、学びを支える資料の視点で分類をされております。その他、美術の2・3年の下では、現代社会の美術のつながりを見つける題材なども多く扱われておりました。

次に、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮という観点に関しては、各3社ともにそれぞれの題材の初めにマークなどで観点別の目標が分かりやすく示されております。

次に、思考・判断・表現力等の育成を図る配慮、この観点に関しては、特に光村図書の教科書においては、各題材が鑑賞から表現、そして最後に鑑賞という構成で全ての題材が統一されており、非常に分かりやすい構成になっておりました。そして、ポイントなどの小見出しが表示されており、見方や考え方を深めるための問いかけが工夫されております。そして、参考となる作品が非常に豊富で、特に全国の生徒作品を見ようという形で非常にたくさんの作品が掲載されております。

同じく日本文教出版に関しても、「鑑賞の入り口」、「造形的な視点」などを各ページに設けて工夫されております。その他、作者の作品ごとに「作者の言葉」や「表現のヒント」など、発想、構想につながるようなヒントや手だてが工夫されております。

次に、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮という観点に関してで

すが、開隆堂に関しては、各題材の初めに、「学」という見出しで主体的に取り組めるような目標が示されています。

光村図書は、美術1の最後のページに「美術鑑賞を楽しむ手がかり」として、鑑賞の見方、鑑賞の流れを分かりやすく示しているページがありました。

また、美術1年生の最初の見開きのページでは、タブレット端末の活用を前提としたような題材が紹介されております。

そして、日本文教出版に関しては、各題材がコンパクトにまとめられており、見開きの2ページで構成されております。

また、二次元コードが豊富で、鑑賞活動や表現が深められるような工夫がなされています。

あと、学習指導要領に示していない内容の取扱いに関しては、3社ともにそういう取扱いが行われておりませんでした。

最後ですが、他教科との関連については、これは3社ともに道徳科をはじめ国語、外国語など、いろいろな教科とのつながりが分かるように表示されていたり、コラムが設定されていたり、例えばSDGsの従来の目標なども関連づけてある部分があったり3社ともに工夫して明記されておりました。

#### ○副会長

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告について何か質問ございましたらよろしくお願いいたします。

#### ○採択委員

報告資料を見せていただいて、美術の授業をイメージすると、美術的な作品、芸術家が描いたアートを鑑賞し、自分の中で感性を高める、そういう授業が一つかな。そして、また今度は自分でイメージしながら想像して、それを形として表現していく、表していく。実にスキルの授業、実際絵を描く、デザインをするということだろうと思いますが、その2つを眺めながらこの報告文書を読ませていただくと、子どもたちが美術の授業が楽しい、その絵を見てすごく感情が高まる、楽しい。そして、作業をしながら楽しめる。作業をする中では特に、行き詰まったり、どうしたらいいかなというとき、隣の子どもたち、仲間の作品を見たり、時には先生のアドバイスを受けてたりして、また教科書にはどうするのかなという活用。そこに、タブレット端末で検索できるものがついているというような、そういう授業かなと思いつきながら読ませてもらうと、光村図書は、そういう言葉がたくさん出てきますが、例えば今、表現活動の題材と鑑賞活動の題材が分かるように書いているとか、5つのキーワード、楽しむのキーワードとか、それから、鑑賞、表現、鑑賞、それから参考となる作品が豊富である。それから、下のほうでは「美術鑑賞を楽しむ手がかり」というのが出てくるわけで、こうした表現が光村図書に多く見られ、日本文教出版にも少しあるわけですが、これを読ませてもらうと、どうしても光村図書がよいかなと感じますが、その辺りの見解を聞かせていただければと思います。

## ○代表調査員

今、お話しいただいたように、美術の授業は、鑑賞活動と表現活動、大きく分けてこの2つかなと思っております。どうしても表現活動、技術的な部分になりがちですが、しかしながら、今の子どもたちには特に表現活動になりがちですが、鑑賞の部分をつかに入れていくかというところが大きなポイントになるかなと思っております。

会議の中でもその辺りを中心に見ていると、もちろん日本文教出版にも丁寧にそうした表記の工夫があるのですが、会議の中で出てくるのは、日本文教出版は細かく丁寧に書かれているのに対して、光村図書は、一つ一つの言葉、問いかけの言葉のちょっとした工夫や、あえて細かく書き切らずに自分たちで考えてくださいというような流れが教科書全体にあるような、そんなイメージだなと話をしておりました。

つまり、鑑賞活動に取り組める工夫はそれぞれ同じようにはあるんですが、大きな部分で言いますと、鑑賞、表現、この表現に多分時間がかかると思うんですが、もう一度最後に鑑賞という、大きな流れが非常に分かりやすい。分かりやすさでいえば光村図書の教科書かなという意見は出ておりました。

## ○副会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

## ○採択委員

今、お話しいただいた中で、鑑賞と表現で、とりわけ鑑賞については私も大事な分野だと思っています。日本の文化と伝統ということ、文化財保護という視点から見てみますと、小・中学生のときに、例えば仏像とか、それから日本の文化財としての三重塔とか五重塔とか五輪杵とかいろんな表現がありますが、独特のものが日本にはあります。そういうことがこの3社の中で、うまく鑑賞としての教材として日本の文化全体を扱っているということで、特徴的なものがあれば教えていただけたらというふうに思います。

## ○代表調査員

3社ともに、まだ日本の文化的な内容はそれぞれありますが、ただ、その切り口にそれぞれ特徴あるかなと思います。

例えばその一つが、先ほども少し触れましたが、光村図書の教科書の紙質、和紙風のページを挟んでいる部分、例えば版画や、浮世絵などの作品が載っているページには和紙風の紙が使用されており、想像力を高めさせる工夫がなされています。

そして、今もありました、仏像でしたら、例えば風神雷神であれば、尾形光琳の作品と俵屋宗達の作品を比べている出版社もあれば、風神雷神にこだわって、絵としての風神雷神と立体作品としての風神雷神を比べて掲載しているなど、何かと日本文化を比べたり、日本文化の中で平面と立体を比べたり、そういう工夫がそれぞれの教科書にはなされていると思いますし、それぞれ特徴があるかなと思っております。

## ○副会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

それでは、ここで代表調査員には一旦御退席をいただきます。また必要があれば再度入室をいただきますので、よろしくお願ひいたします。

(代表調査員 退室)

#### ○副会長

それでは、美術について協議をさせていただきます。意見をお願ひいたします。

#### ○採択委員

美術の狙いであり、感性を養う鑑賞、それから表現から使いやすい教科書は光村図書ではないかなと感じますので、光村図書がいいと思います。

#### ○副会長

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

それでは、美術につきましては、光村図書でどうかという御意見がございます。つきましては、光村図書でお諮りをしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、美術については、光村図書を共同採択することに賛成の方は挙手をお願ひいたします。

(挙手全員)

#### ○副会長

それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、美術については、光村図書を山城地区として共同採択することといたします。

それでは、次に、保健体育の教科用図書の採択を行います。保健体育の代表調査員の入室をお願ひいたします。

(代表調査員 入室)

#### ○副会長

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力をいただきありがとうございます。

それでは、調査研究の結果について御報告をお願ひいたします。

#### ○代表調査員

それでは、基本観点に従いまして4社の比較をしていきます。

まず初めに、全体としての特徴等におきまして、東京書籍につきましては、動画学習ができる単元は二元コードが必ずページ下についておりまして、全単元でタブレットを使用できるという特徴がございます。

続いて、大日本図書につきましては、基本的に見開きで、左と右に資料と本文というように分けて統一されています。ここにつきましては、デジタル教材が若干少ないかなという印象を持っています。

続いて、大修館書店ですが、最後に保健体育のクイズにトライしようという二次元コードがついており、どちらかというと復習で使えるコンテンツになっているかなと思います。

最後に、学研ですが、各章ごとに章のまとめがありまして、ここの特徴は評価の3観点

ごとに設定してありまして、指導と評価の一体につながりやすいかなと思います。

総じて、東京書籍につきましては、導入で使える映像やデジタルコンテンツが多く、それに対して他社は復習に重きを置いているような印象がございます。

続いて、基礎的、基本的な知識及び技能の習得につきましては、東京書籍につきましては「巻末スキルブック」という教科書の最後に全単元のハイライトの資料が載っているのが特徴かなと思います。

続いて、大日本図書におきましては、先ほども言いましたが、基本的に見開きで左、右というような構図がずっと続いているようになっております。

大修館書店につきましては、本文と資料の組入れが非常に明確にされていて、見やすい構造となっています。

最後に、学研は、先ほども言いましたが、学習の課題が「分かる」と「考える」に細分化されていて、教師が観点別に意識しやすい構成になっているところです。

続きまして、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮としましては、東京書籍は、「活用する」という出題形式に工夫が見られ、グループ協議につながるような発問が多いかなという印象を持っています。

続いて、大日本図書につきましては、「話し合ってみよう」というタイトルで、自分の生活を振り返って考える内容になっておりますので、自分に対しての自問自答をするような問いが多いかなという印象です。

大修館書店につきましては、まとめの問いもありますが、先ほども言いました、単元ごとにクイズ形式で、デジタルで進んでいくゲーム形式になっているのが特徴です。

学研につきましては、東京書籍とよく似ておりまして、グループ協議に向いている発問が多い特徴です。

続いて、生徒が主体的・対話的に取り組むための配慮ですが、東京書籍はDマークコンテンツということで、マイページに二次元コードをつけまして、そこに映像やワークシートがついています。

他社におきましては、重複になりますが、学研が「探究しようよ！」で、より探求的な問いが最後についているのが特徴です。

それから、学習指導要領に示していない内容の取扱いにつきましては、東京書籍は章末資料に様々な発展的な資料、言わば、補足的な資料がたくさん載っています。

大日本図書は、「発展」マークの章末資料などで、こちらはどちらかというキーワードのまとめになっています。

大修館書店は、これも章末資料で、補足的な、より深い資料が写真等でつけられています。

最後に、学研出版は、先ほども言いましたが、「探究しよう」ということで、学んだ内容を自分で考え、グループで話し合えるような資料になっているという印象です。

他の教科との関連につきましては、4社ともほぼ同じ印象ですが、東京書籍におきまし

ては、各章の初めに、「保健体育の職業」として、保健体育に関わりのある職業の方1名を写真で紹介し、Dマークコンテンツも用いて、その方の説明を深く掘り下げていますので、キャリア教育の視点も含まれているように思われます。

最後に、表記・表現の工夫です。東京書籍と学研出版におきましては、教科書に色分けがされていまして、その色分けとともに高さでも色分けされているので、すぐに開けやすい特徴があります。

それから、学研出版は、文字、それからフォント等も見やすく、唯一、行間が非常に空いていまして、ユニバーサルな視点を持っているように感じました。以上です。

#### ○副会長

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告について質問をお願いいたします。

#### ○採択委員

1つお尋ねします。4社ともインターネットの活用、あるいは1人1台端末が配置されているということを前提にした教科書作りがなされていると思いますし、さらに特別支援、UDフォントを使っているということは共通だと思いますが、実際この報告書も含めて見せていただいて、東京書籍の「巻末スキルブック」をうまく活用すれば、すごくよいものになるのではないかと思います。この辺りのことが実際指導される先生方の立場でどうかということと、生徒、学ぶ側からしてどうなのかということをお教えいただきたいのと、もう一つは、先ほどの報告でも述べられましたけれども、「保健体育の職業」というものがあるということが将来の子どもたち、中学生にとって、職業選択において、どのような効果があるのかということも教えていただきたいと思います。以上です。

#### ○代表調査員

学び方の点につきましては、先ほども申し上げたように、導入で映像を使うタイプと、まとめて振り返りで映像を使ったり、ワークシートに移動したりするなど、各社いろいろな工夫をされています。中には、環境省などのサイトに移動するようになっていて、より深く知ることができるコンテンツも各社ともに設定されているなどと思います。

調査員たちは、まとめの方が使いやすいかなどというふうに感じていました。

先ほどおっしゃったように、「巻末スキルブック」につきましては、これまでになかったハイライトのまとめで、活用の仕方はこれからというところですが、最終的にこんなことを学んだよねと振り返りに使えそうだというようところで申しました。

「保健体育の職業」につきましても、今回から掲載されており、それをどのように使っていくかというのは想像の域でしかないですけれども、やはり子どもたちが分からない、知らない職業が掲載されることがありますので、その点については教師の使い方によって非常に幅が広がるのではないかなという期待感があります。

#### ○副会長

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

## ○採択委員

2点お伺いします。保健関係が1点と体育関係が1点。

まず、保健ですが、災害が起こると救急の手当てや、AED等、救急救命の問題が出てきます。けがの手当てや救急救命、人工心肺蘇生の問題など、そういうことがきちんと掲載されているのか、使用されているのかという問題。一般的にいろいろな中学校で、そういう実習をどんどん取り入れてやっている。中にはそれを学んだから人を助けたという実例も聞いておりますので、4社の中でそういうことを掲載しているところがあれば教えてください。

2点目、体育関係ですが、今、パリでオリンピックをやっていますね。見ていると、技術的なことはもちろん、終わった後や始まる前のコメントがすごく上手になってきています。日本人が、非常に上手に表現しています。今の体育の授業を時々見ますが、体育の授業の中で、実技だけではなくて、その実技に対して自分はこう思うとか、ああ思うとか、いろいろな考えを皆で出し合って相談してやっているという、そういう表現力もあるのかなと思う。もちろんそれ以外のこともあると思いますが、その辺りで、そういう流れになっている教科書はあるのかなのかということをお教えください。

## ○代表調査員

保健ですけれども、4社ともに災害を取り扱うのは増えているという感じがします。救急救命についてはどこも取り扱っていますし、まず、教科書の中で、写真やイラストで、知識を押さえています。また、二次元コードで、より具体的な動画があるのがほとんどかなと思います。

消防と連携して実習を組んだり、例えば2年生で履修する場合は2年生の授業の前に実習をして、復習として授業で押さえるか、先に知識的に授業でやって、後から実習で押さえるかということをごこの学校もしているかなと思います。

次に、体育ですが、体育理論で、オリンピックや国体のページ、写真が必ず載っています。それに対して、スポーツをするだけではなく、見る、知る、支えるという観点で、関係して成り立っているというところから体育理論が始まりますので、まさにおっしゃったように、オリンピックのコメントはもしかしたら成果が出ているのかなと思います。以上です。

## ○副会長

他にどうでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、ここで代表調査員には一旦御退席いただきます。また必要があれば再度入室いただきますので、よろしく願いいたします。

(代表調査員 退室)

## ○副会長

それでは、保健体育について協議をさせていただきます。御意見をよろしく願いいたします。

### ○採択委員

今回については東京書籍には、「巻末スキルブック」や、「保健体育の職業」という新しい内容があったわけですので、東京書籍にしたらどうかと私は思いました。

### ○副会長

他によろしいでしょうか。

### ○採択委員

難しいところかなとは思いますが、保健体育は、これから生きていく体をつくっていくというところも含めて考えますと、やはり将来をどのように生きるかという意味では、キャリア教育の視点というのは東京書籍にしか入っていないというお話もありましたし、その意味からいくと東京書籍が望ましいのかなと思っています。

それから、二次元コード、これが統一した形で入っている点も、タブレット端末をようやく3年使って、体育科では特に今、私どもの地域でも使っているところですので、そういう意味での活用が今後含まれていくということにおいても、東京書籍がよいのではないかなと感じているところです。

### ○副会長

ありがとうございます。他にないようでしたら、よろしいでしょうか。それでは、保健体育につきましては、東京書籍でどうかという意見がございました。つきましては、東京書籍でお諮りしたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

それでは、保健体育につきましては、東京書籍を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

### ○副会長

それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、保健体育については、東京書籍を山城地区として共同採択することとします。ありがとうございます。

それでは、ここで一旦休憩ということで、5分間休憩させていただきます

(休憩)

### ○会長

では、再開したいと思います。

ここからの協議につきましては、進行を川村副会長にお願いしたいと思います。

### ○副会長

皆さんお疲れとは思いますが、あと4つでございます。頑張っていきましょう。それでは、技術・家庭科の教科用図書の採択を行います。

技術分野の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

### ○代表調査員

技術・家庭の技術分野ですが、3社ございました。まず、東京書籍、それから教育図書、

開隆堂です。

採択基準の学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていることの基本観点  
(1) 全体としての特徴や創意工夫を東京書籍からお話をさせていただきます。

東京書籍は、「最適化の窓」で技術の見方・考え方の考え方が分かりやすく示されています。そして、学習の流れが分かりやすく示されています。

教育図書では、見つける・学ぶ・振り返るの流れが分かりやすく示されています。より詳しい内容は別冊の「スキルアシスト」がございまして、実習に必要な部分や発展的な内容などがございました。

3つ目の開隆堂ですが、教科書の構成が「基礎的な技術」、「問題解決」、「これからの技術」となっており、どの分野でも同じように構成をされているということです。「Wants」・「安全」・「環境」・「経済」という視点が示され、教科書全体を通して活用をされています。

続きまして、2の内容や構成が学習指導を進める上で適切であることの基本観点(1) 基礎的、基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮の部分でございまして。

まず、東京書籍ですけれども、「技術のとびら」や「TECH Lab」のページがございまして、基礎的な部分になっており、大変見やすくまとめられています。各編の1章、「身の回りの技術」で身近な技術を用いています。

教育図書ですが、先ほども申しました、別冊にてまとめられています。「編のまとめ問題」で知識技能についてまとめられています。情報分野では、実物の写真が多く掲載されています。

3つ目の開隆堂です。大事な部分は太字で示されています。生物育成分野の水産に関する内容が充実していると感じました。

次、(2)の思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮ということで、東京書籍は課題が設定されておりまして、それを解決するためにどうしたらいいかを問う部分がある。調べてみようという項目がある。「最適化の窓」という項目が最初にございまして、技術の見方・考え方の例が示されている。

教育図書においては、「編のまとめ問題」で広範な表現についてまとめられている。実習例において、問題発見、設計・製作、振り返りが分かりやすく例示されています。

開隆堂は、各編に「問題解決の流れ」のページがございまして、流れが分かりやすく示されています。

続きまして、(3)の基本観点、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮ですが、東京書籍は、「考えてみよう、やってみよう、調べてみよう、話し合ってみよう、まとめてみよう、振り返ろう、深めよう」という項目があり、学習を振り返り、次の学習に向けての工夫がされています。

教育図書は、AからD編のそれぞれの末に「やってみよう」という項目があり、自分の考えや今後心がけたいことなどを記すようになっております。

開隆堂は、「やってみよう」、「実験」という項目があり、既存の技術の工夫や仕組みについて調べ、考えをまとめる項目が設定をされておりました。

続きまして、(4) 基本観点、学習指導要領に示していない内容の取扱いです。

東京書籍は、資料として一般の人のアンケートといたしますか、コメントが載せられておりました、技術がどう生かされているかや、取組内容が記載されております。

教育図書は、「E編」というのがございまして、AからD編を横断するような内容、3年間のまとめや先輩からのメッセージなどがまとめられております。

開隆堂は、「参考」や「i n t e r v i e w」という項目で様々な技術が紹介されており、たくさんのインタビューが掲載されております。

続きまして、(5) 他の教科等との関連です。

東京書籍ですが、リンクマークの横に、この教科書の関連する部分、または他教科のどの分野と関連があるのか、また小学校での既習内容等の記載がございまして。

教育図書は、「関連 小学校理科 中学校理科」のように、他教科との関連や小学校での既習内容との関連が記載されております。

開隆堂は、各編の最初のページに「小学校や他教科とのつながり」が示されております。

続きまして、採択基準3使用上の便宜が工夫されているところということで、基本観点が(1) 表記・表現の工夫というところがございます。

まず、東京書籍です。二次元コードによる追加情報や資料が多く用意されており、基本、右上に掲載されている。これは全ページ掲載されております。同じ場所にありますので、非常に分かりやすいという感じを受けています。

「最適化の窓」というのが巻頭につけられておりまして、技術の見方・考え方が示されております。写真、図、イラストで分かりやすく編集をされています。

続きまして、教育図書ですが、二次元コードによる追加情報や資料を多く用意されておりまして、ここは基本、右下に掲載されております。

開隆堂ですが、二次元コードの追加情報や資料が多く用意されております。これも基本、右上に掲載されていますが、全ページにございます。以上でございます。

## ○副会長

御報告ありがとうございました。

ただいまの代表調査員の報告について御質問はございますか。

## ○採択委員

1点お聞きしますが、現在SDGsに対する目標達成の取組は、テクノロジーの力が非常に大きいと思います。そういうものの基礎としてこの技術というのが非常に重要な分野だと思っておりますが、そのように、この技術の内容とSDGsの具体的な取組をより分かりやすく取り上げている教科書が、ありましたら、その教科書の特徴を教えてくださいとありがたいと思います。

○代表調査員 SDGsですけれども、どの教科書にも項目がございまして。関連のある

ところにそのSDGsのそれぞれのマークがつけられており、一目で分かりやすいです。以上でございます。

**○副会長**

よろしいですか。他に御質問ございませんか。

**○採択委員**

技術科の先生方が減ってきて、それから子どもたちもなかなか物づくりの体験ができないような状況の中で、技術の基礎的なスキルというのでしょうか。そういうものが、3社で見ると、非常に特徴的かなと思って見ておりました。「スキルアシスト」としてまとまっている教育図書、その単元の内容のところに技術的な内容をまとめている東京書籍、そして、本文の中につらつらと書いてある開隆堂と、三者三様であるかなというふうに感じていますけれども、二次元コードでも結構教科書によっては詳しく、基礎的な使い方が動画で出てくるような教科書もございます。

このような中で、山城で授業をする上ではどの教科書が一番使いやすいというふうに調査員では感じられたのか、ぜひ教えていただきたいと思います。

**○代表調査員**

調査員の意見を聞いておりますと、東京書籍の教科書が使いやすいというふうな意見が全員でした。

**○採択委員**

それは具体的にどうしてでしょう。

**○代表調査員**

今使っているのが東京書籍で、この三、四年使ってみて使い勝手が非常にいいという意見でした。

**○採択委員**

ありがとうございます。

**○副会長**

他に御質問はありますか。

御質問等ないようでございますので、ここで代表調査員につきましては一旦御退席いただきますようよろしくお願いいたします。また必要があれば再度入室いただきますので、よろしくお願いいたします。

(代表調査員 退室)

**○副会長**

それでは、技術・家庭科、技術分野について協議させていただきます。

御意見等ございますでしょうか。

**○採択委員**

3社を比較して、以前と比べて写真や、そういう構成について大差はないなというふうには思います。ただ、全体の流れを見たときに、東京書籍は一定まとまりがあるかな。そ

の中で、「技術の匠」のところにやはり現場の声がかなり反映されているのと、逆に一般の方のアンケートが記載されていて、そういう構成をされているのは東京書籍だけ。アンケート的なインタビューなどは載っているが、それはどちらかというと現場、あるいは企業とか、そういうところのインタビューがいろいろ載っている、物づくりの関係。それに対して、それを使う側のことについてうまく取り入れているのは東京書籍ですので、そういうところから生徒たちの関心が湧くのではないかというふうに考えます。

#### ○副会長

ありがとうございます。他に御意見ございますか。

#### ○採択委員

この3社を見て、僕ならこれを使うというのが、先ほどの意見と一緒にです。というのは、いろいろな材料、それからいろいろな中身について、どれにでも対応できる、それから初心者であろうがベテランであろうが、山城管内の技術科は今、講師が指導している、若い人が指導している、ベテランが指導している、それから定年になった講師が指導しているというように、幅の広い少ない人数でやっている現状があるので、どの中身でも題材が選べて指導できるということが大事なのかなというふうに思いました。私も、東京書籍でなかったら、先生も対応できないのではないかなというふうに思います。以上でございます。

#### ○採択委員

私も東京書籍で、理由の一つとして先ほど質問もさせていただきましたが、SDGsの具体的な取組を分かりやすく説明している。他の教科書会社は単にロゴだけ載っていたりするのですが、関連性をしっかりと捉えているというので、技術の先生からすると、子どもたちが自分でSDGsとテクノロジーの問題を考えていく一つの素材にもなるのではないかと思います、東京書籍を支持いたします。

#### ○副会長

ありがとうございます。他に御意見ございますか。

それでは、他に御意見ございませんので、技術・家庭科（技術分野）について東京書籍はどうかという御意見でございました。つきましては、東京書籍でお諮りしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、技術・家庭科（技術分野）につきましては、東京書籍を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

（挙手全員）

#### ○副会長

それでは、挙手全員でございますので、全員一致して御賛同いただきましたので、技術・家庭科、技術分野につきましては、東京書籍を山城地区として共同採択するものといたします。

次に、技術・家庭科、家庭分野の代表調査員の入室をお願いいたします。

（代表調査員 入室）

## ○副会長

代表調査員におかれては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力いただきましてありがとうございます。

それでは、調査研究の結果について報告してください。

## ○代表調査員

全体としての特徴や創意工夫で、単元の配列について、東京書籍と他2社については配列が違います。教育図書と開隆堂は学習指導要領のとおり、A、B、Cの順番になっていますが、東京書籍は6点になり、Bを3点、衣と住と環境に分けて、順番をB、C、Aというふうにしています。こうすることで、3年間のストーリーが出来上がり、指導もしやすく、生徒も理解しやすいと考えました。

ガイダンスについての差はありません。

資料については、開隆堂は、細かいいろいろな資料がたくさんありました。

伝統文化については、3社それぞれが郷土料理や、雑煮に特化したり、あるいは和服に特化していますが、特に東京書籍については、「鬼滅の刃」を使って紋様や染色について取り上げられていて、伝統文化に触れやすい工夫がされていると考えました。

栄養素の指導については、開隆堂だけが最初に食品に含まれる栄養素からスタートしていますが、他の2社については、栄養素について学んだ後に6つの基礎食品、食品のクックに合わせ、献立作りという単元配列になっています。これも、栄養に関する知識を学んだ後に献立作りを進めたほうが指導もしやすいし、理解もしやすいと考えました。

続いて、ページの使い方については、東京書籍は一貫して左右で書かれている項目が統一していますが、他社2社については若干そこが違ってきます。

6つの食品群のところについては、よく使うページなので、東京書籍は厚紙になっています。他の2社についても折り込みにはなっていますが、紙は薄くなっています。

また、ページの構成上、厚紙のページを開いて、栄養素のところのページを開くと上手につながるように見えるので、非常に指導がしやすく、子どもも理解をしやすいというふうに考えました。

続きまして、内容や構成が学習指導を進める上で適切であることについては、3社とも表現は違いますが、目標があり、課題を提示して、考えて調べて振り返るという中身についてはさほど差はありませんし、キャラクターを活用して親しみやすい言葉で表示されています。

学習のまとめについては、3社とも簡単なテストのような形で、評価につなげやすい要素になっていますが、東京書籍だけは細かいチェック項目があるため、何を復習すればいいのか、テスト対策としてどの言葉を理解すればいいのかというのが分かりやすい工夫がありました。

また、3社とも実物大の写真があって非常に分かりやすいですが、ただ、実物の写真があるだけでなく、東京書籍については、手のひらに載せた場合の大きさや、ページの下に

物差しがあるので、これぐらいの長さということが量感として分かりやすい工夫がされています。

思考力、判断力、表現力を育成するための配慮については、3社とも「〇〇してみよう」という問いかけで、主体的に取り組む工夫がされています。その中で、家の中の危険探し、家庭内の事故を防ぐというところの資料として、開隆堂は取扱いがありません。教育図書には載っていますが、そのページに答えが書かれています。それに対して、東京書籍は、課題だけを提示して自分たちで考えさせる工夫がされていました。

続いて、主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮については、3社ともさほど差はありません。ただ、東京書籍については、思考ツールを取り上げていて、話し合い活動などで活用することで主体的、対話的な学習につながると考えました。

学習指導要領に示していない内容の取扱いについては、「せいかつメモ」や、「発展」、「豆知識」と表記は違いますが、3社さほど差は感じませんでした。

他教科との関連については、キャリア教育の他、表現は違いますが、それぞれいろいろな例が載っています。その中で、特徴的なのは、開隆堂の「食べものは体の中でどうなるのかみてみよう」という理科との関連を図る図については非常に分かりやすいと考えました。

小学校とのリンク、それから道徳との関連、高校との関連等、若干違いはありますが、表示もあり、分かりやすい工夫が3社ともなされています。

表記・表現の工夫については、重さを量りましたが、教育図書がAの変形判でありながら若干重いと感じました。

語句については、東京書籍が、見た感じ、ルビ打ちが多く、ユニバーサルデザインのことを考えると、このルビ打ちと色遣いで、教育図書は非常に色がカラフルで、見やすいですが、刺激がいっぱいある中でどこを見たらよいのかと目移りするような、配慮の必要な生徒のことを考えると、東京書籍のような優しい色遣いで、編ごとにはっきりとページ全体を色づけして、今学習している単元はオレンジのページであるとか、紫のページであるとか、ページを見れば今どの単元を学習しているのかが、生徒に分かりやすい工夫がされていると考えました。

また、例えば左利きの生徒に対する配慮や、家庭的な話をする中で、アニメや絵本、あるいは家族についての例を挙げるなど、各社それぞれ工夫されています。

また、京都府のものを取り上げている事例として、住まい、食べ物や郷土料理など、3社取り上げているものは違いますが、それぞれ京都府のものを取り上げています。

SDGsについては、東京書籍が最後にまとめていますが、教育図書も開隆堂もそれぞれの単元の中で取り上げられている他、教育図書は巻末にマークやラベルなどがありますが、他の2社については単元の指導の中にあるなど、若干の取扱いは異なっていますが、差は感じませんでした。

また、デジタルコンテンツについては、各社あります。その中で、二次元コードの数を

見ると、東京書籍が数としては多いのと、教科書の右上のところにバーコードがあるので、そこを追っていけば分かりやすいと感じました。以上です。

**○副会長**

御報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告について御質問など等ございませんか。

**○採択委員**

タブレット端末で、特にシンキングツールのような、考え方をまとめて表現するというような授業が可能になっておりますけれども、それがこの3社の中で特に強調して使われているのはどちらの教科書でしょうか。

**○代表調査員**

東京書籍です。

**○副会長**

よろしいですか。他にございますか。

質問等がないようですので、ここで代表調査員には一旦御退席いただきます。また必要があれば再度入室いただきますので、よろしくお願いいたします。

(代表調査員 退室)

**○副会長**

それでは、技術・家庭科、家庭分野について協議させていただきます。御意見等ございますでしょうか。

**○採択委員**

先ほども申し上げましたように、シンキングツールの活用とか、それから各単元の終わりに持続可能なそれぞれの単元があって、東京書籍が適切ではないかと私は考えます。

**○副会長**

他に御意見ございますか。

**○採択委員**

家庭科というのが、子どもたちが、今、そして、これから成長して生きていく中で一番大切な授業になってくるのかなと思いますし、そういった中で、家庭との協力も併せて、人間が生きていく上での食、いい食事について大切なものがまとめられていると感じたのは東京書籍でしたので、一番いいのかなというふうに思いました。以上でございます。

**○副会長**

他に御意見ございますか。

御意見がないようですので、それでは、技術・家庭科（家庭分野）について、東京書籍はどうかという御意見がございました。つきましては、東京書籍でお諮りしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、技術・家庭科（家庭分野）につきましては、東京書籍を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

### ○副会長

挙手全員であります。それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、技術・家庭科、家庭分野については、東京書籍を山城地区として共同採択するものといたします。

続きまして、英語に移りたいと思います。

英語科の教科用図書の採択を行いますので、英語科の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

### ○副会長

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御協力をいただき、ありがとうございます。それでは、調査研究の結果について報告してください。

### ○代表調査員

それでは、英語調査員会議の報告をさせていただきます。

英語については、6社の教科書について調査研究を行いました。各社扱うテーマ、学習の進め方、教科書の表記等についてよく吟味されており、それぞれ特徴があります。調査員会議としましては、学習の主体である生徒にとって使いやすく学力が付きやすいこと、また、指導者である先生方にとって教えやすいかどうか注視して研究調査を実施いたしました。

それでは、各6社の特徴についてかいつまんで報告させていただきます。

まず、最初の全体としての特徴や創意工夫ですけれども、それぞれ6社とも「CAN-DOリスト」を備えておりまして、これは学習の到達目標を明確にしているものです。そのリストについては6社ともそろえておりますし、あと4技能5領域ということで、英語の場合は聞く、読む、話す、書くという4技能、これが5領域になりますのは、話すには、一方的に発表するスピーチのような部分と、あと対話形式のやり取りの部分があり、英語では4技能5領域というのが主流になってはいますが、これについては6社ともそれぞれ総合的に育成ができるように配慮がされています。

中でも東京書籍ですが、生徒の好奇心をかき立てる教材をそろえて、生徒が自ら学びたくなる工夫があるというのが大きな特徴です。

開隆堂は、多様なパフォーマンステストを想定した形式となっている、いろいろ実践的なテストが想定されております。

三省堂ですが、巻末の付録が一番充実しているという意見でした。

教育出版は、即興的な会話を重視した内容となっており、会話重視という印象です。

それから、光村図書は、4人の中学生のストーリーで、生活を通じて表現を達成できる知識を身につけられるよう工夫されているのが一番大きな特徴です。

啓林館ですが、他社も配慮はしていますが、小学校での学びを振り返って、小中接続を意識した丁寧な構成がされています。

あと、基礎、基本の知識を得る、技能の習得を図るための配慮で、これも大きく特徴は変わらないですが、例えば東京書籍はスモールステップで英語力を高められるよう、割と小さめにゴールを設定して、それを一つ一つ達成していくことで生徒にやる気を生むという工夫です。

開隆堂も、生徒が意識を持って取り組むようにということで、ゴールの活動が各ユニットの冒頭に示されています。

三省堂は、各レッスン1のところと全学年、前の学年の復習ページが設けてあり、1年・2年、2年・3年の接続がスムーズになされているという印象です。

教育出版も、小学校との接続となる単元を設定されているところです。

光村図書ですが、こちらも扉の部分に目標が示されており、その目標に向かって学習できるよう、各活動が設定されています。

啓林館ですが、先ほども言いましたが、小・中学校の学習をスムーズにつなげるための文法配列を設定しています。

思考判断、表現力については、東京書籍については、よりリアルな場面設定で実践的なコミュニケーション力を伸ばすところに力点を置いています。

開隆堂は、話すことを意識した活動、書くことを意識した活動というように、アウトプット、つまり、話したり、書いたりというところに力を入れています。

三省堂ですが、目的や場面を具体的に意識して活動に取り組むことができるように配慮されています。

教育出版は、既習の知識や技能を活用した統合型の言語活動に取り組める。

光村図書ですが、登場人物になり切ってせりふの続きを考える活動、そのストーリー性が高く、そのストーリーを生かした工夫が随所にあります。

啓林館も、先ほどありました4技能5領域、この統合的な言語活動を行うことができるものとなっております。

あとは、主体的・対話的に学習に取り組める配慮としまして、東京書籍は、英語を学ぶ主体的な学習態度を育成することを目指しています。その役に立つよう「学び方コーナー」が設けてあり、自主学習の育成を目指しております。

開隆堂ですが、単語アプリという、これはスマートフォンやタブレット端末にインストールできるようなものですが、そういうコンテンツを用意して自学自習をする工夫がされています。

三省堂ですが、自分の発音をAIが採点するような機能もつけております。

教育出版は、ユニットごとに自学、自分で学ぶことに役立つ内容が配慮されております。

光村図書ですが、友達や先生と対話しながら考えを深められるような「Let's Chat」というコーナーを設けることで工夫がされております。

啓林館も、「英語の学び方」というコラムのようなセクションがありまして、自学自習に役立つ内容となっております。

あとの3項目につきましては、呼び名はいろいろですが、「L e t ' s R e a d」や「F u r t h e r R e a d i n g」というように、いろいろな読み物を配置することで、学習指導要領を超えて、さらに発展的な学習もできるようになっています。

他教科との関連、その他の項目ですが、各社、SDGsや平和、国際理解・国際貢献、伝統文化・異文化理解、自然科学、ジェンダーへの配慮、環境問題等、各社、いろいろ特徴を持って編成されております。

表記ですが、これも6社ともに、特にフォントはユニバーサルデザインで、非常に視認性がよくて見やすい。また、各社、カラーユニバーサルデザインということで、カラーコーディネーターも採用しながら、配色、デザインについても非常に配慮されています。

それから、大きさにつきましては、A4判、A B判という2種類が現在主流となっております。全体的には以上です。

#### ○副会長

報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告について御質問はございませんか。

#### ○採択委員

この6つの教科書を見させていただきましたが、特にこの光村図書の教科書の展開が、ここに書いてあるように4人の中学生、実際は7人登場人物がいるわけですが、その登場人物が、教科書の最初から教科書が終わるまで、全ての展開、流れをつくりながらやっていくという非常にユニークな教科書です。教科書としてこういう題材を扱うことに関して、他の教科書との違いがあるわけですが、このことについて調査員会議では何か意見は出ましたでしょうか。

#### ○代表調査員

おっしゃるように、光村図書の一番の特徴がストーリー展開で、現役中学生の生活に密着した作りになっております。例えば、3年生で修学旅行が終わりましたら、修学旅行を扱った内容が教科書に英語で出てくるというようなところです。先ほどの報告にもありましたが、登場人物になり切って、せりふの続きを考えるような活動は非常にしやすい、現役の教員である調査員からは、そのような意見が出ておりました。

#### ○副会長

よろしいですか。他に御質問ありますか。

#### ○採択委員

今回、中学校の英語ですが、小学校で英語が教科化されたことに配慮して教科書が作っているのか、ないのか。あるとするならば、それはどこの教科書会社なのか。その辺りで、中学校での指導として、使いやすさ、指導しやすさ、そういうことがあれば教えてください。

#### ○代表調査員

逆に言いますと、今、配慮していない教科書はないです。やはり外国語活動とか、外国

語、教科としての英語も5、6年で始まっておりますので、それぞれ各社工夫しております。

例えば、光村図書ですと小学校での既習の語句や表現にマークがついているので、中学校の英語の教師にしても、この部分は小学校で既に習っているということを意識しながら教材を組み立てることができます。ただ、そういう表記やマークはありますが、実際には小中連携で、小学校の英語専科の先生や、担任として英語を教えている先生と中学校の指導者とが顔を合わせて連携することはやはり大切ではないかなと考えています。以上です。

#### ○副会長

他に御質問はありますか。

#### ○採択委員

今、子どもたちの荷物がとても重くなっていることがよく議題になります。その中で、大きさについて、A4判とA B判があり、私、重さまで分かっておらず、ばらばらの外見、見させてもらったところ、A判とA B判と使っているところにそんな差異はないように思ったんですけども、もちろん内容はきちんと各社網羅できていると思いますが、教科書の大きさ等について調査員会議で話は出ましたでしょうか。

#### ○代表調査員

こちらがA4判で、こちらがA B判です。幅は一緒ですので、縦の寸法が違うだけですが、重量的にはそれほど変わりません。

正直、調査員会議では、これよりさらに小さくB5でよいという意見でした。というのは、教科書会社としては、判が大きくなると、写真がカラフルでいいということで、多分、だんだんサイズを大きくしていると思いますが、内容自体は昔のノートぐらいの大きさでいいかなと言っていました。ただし、デジタル教科書が主流になっていけば、これも全部解消されていくかなと思います。

#### ○採択委員

デジタル教科書でお聞きしておきたいのですが、今、デジタル教科書が入っているので、今回、紙媒体の教科書と現在のデジタル教科書とが同じなのか。デジタル教科書を、この間、買った気がしており、かなり高かったのが、これをまた来年度買えとなると大変なことになるので、今どうなっているのか、その状況だけちょっと聞かせてください。

#### ○代表調査員

今回の調査については、デジタル教科書ではなくて、紙媒体の教科書をあくまでも調査するということだったので、調査員会議では紙媒体を中心に議論しましたが、デジタルになりますと、特に光村図書についてはストーリー仕立てだと報告したのですが、実際に中学生、アメリカや韓国の中学生が出てきて、映画のようになっています。そこに英語の字幕を出したり、消したりすることもできます。昔はピクチャカードと言って、絵を見せましたが、絵が動くだけではなくて、実際に現地の中学生たちが演技、芝居をしており、そういうところもやはり子どもの食いつきはいいです。

あと、基本文についても、アニメーションや、講師が出てきてきちんと文法も解説するので、これに従っていくと英語の先生の役割、どの辺りが必要になってくるのかなというぐらい、デジタルコンテンツ、二次元コードを子どもたちはタブレット端末で読み込みますが、非常に充実しているなという気はいたします。

#### ○採択委員

山城では、今、英語の教科書はどここの教科書を使っていますか。

#### ○代表調査員

光村図書です。

#### ○副会長

他に御質問はありますか。

#### ○採択委員

恐らく各会社は、英語学習、教育論がこのバックにはひしめいているのではないかなと思いつつ、それぞれの工夫とともに理論に基づいたテキストに工夫されているんだろうと思います。

ただ、現場の先生は、やはり先ほど4技能5領域になったということで、ますます、ただ話すというのではなく、やり取り、アクティビティをする。確かにデジタルコンテンツも大事でしょうが、先生が自ら生徒を主体的に動かすような習慣づけ、あるいは学び方、英語を習得していく手順、この辺りのところを限られた授業場面の中で習熟させていく。この技法が教師に求められていると思います。

私なんかも教科書の本文は全部暗記して、教科書なしでも授業に臨めるというのを基本にしていたわけですがけれども、今、使われている教科書から替わるとまたその辺りも難しいのかなと思います。

今は特にALT、外国人がお越しになるとまた授業展開も違いますし、このテキストをどのように使うのか、そういう使いやすさというのがあります。

今、光村図書が使われているということではありますが、替わることのリスク、それから話すやり取り、この辺りで、今やっておられる不便さ、何か難しさや課題などを感じておられるのかどうか、その辺りを教えていただきたいと思います。

#### ○代表調査員

英語科の先生方は、非常に工夫して授業されていますし、最終、どの教科書でも、教科書で教えるというところはそれぞれ先生方されると思いますが、この光村図書ですと、ちょうどこの教科書の中にもサイズの違うページがありまして、これが例えば「Let's Talk」といって、話してみましようという活動ですが、調査員の話聞いていますと、帯活動、授業の最初の5分から8分ぐらいで、このサイズの違うページの部分を使ってペア活動や、グループでしゃべる練習もするというので、この教科書を使っているいろんな活動をそれぞれの学校が今つくっておられるなど感じているところです。

先ほども言いましたように、各社いろいろ工夫していますので、最終、先生方は、それ

を使って教えるということではできると思うのですが、最初から言っておりますけれども、やはりストーリー性を重視している作りとか、その辺りは、現行のものが非常に使いやすいなという意見は出ておりました。以上です。

**○副会長**

他に御質問ございますか。

**○採択委員**

4年前のことを思い出しましたが、それまでずっと東京書籍を使っていました。光村図書に替わるとき、大丈夫かなと皆さん思いながら4年たったわけですが、振り返ってみていかがでしょうか。

**○代表調査員**

教科書見本を見ていると、東京書籍は、非常に充実しているけれども、充実し過ぎというか、指導者の裁量の部分が非常に少ない。逆に言うと、英語にあまり詳しくない先生が教えるのであれば、東京書籍の教科書に従えばいけるだろう。それぞれ自分で研究されている方は、やはり分量的にも内容的にも、指導者の裁量部分があるというあたりが光村図書、現行の教科書はそういうところが魅力的でした。

単語の数等も少し減らしましたと東京書籍の解説に出ていました、東京書籍がA4で、光村図書がAB判です。

**○副会長**

他に御質問ありますか。

御質問尽きたようですので、ここで代表調査員には一旦御退席いただきます。また必要があれば再度入室いただきますので、よろしくお願いいたします。

(代表調査員 退室)

**○副会長**

それでは、英語について協議させていただきます。御意見等ございますでしょうか。

**○採択委員**

先ほどからも話題になっております、先生の技術力、技量の問題ですが、前回、今まで長く続いたA4の教科書の東京書籍から、光村図書が採択されたときのことを思い出してみますと、どの先生も、ベテランの先生も、あるいは初任のまだ若い先生も、溶け込むようなスタイルでこの光村図書の教科書が出来上がったということで、流れについては歴史を破ったというか、光村図書に替えたという歴史を思い出しました。

そういうことで、今解説していただいた先生からもあったように、先生方が非常に溶け込んだ形で、やりやすい形でこの光村図書を今使っているということから考えまして、今後この光村図書で、また採択していけば、山城地域の英語教育がますますよくなるのではないかという判断をいたします。

**○副会長**

他に御意見ございますか。

それでは、英語につきましては、光村図書はどうかという御意見でございました。つきましては、光村図書でお諮りしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、英語につきましては、光村図書を共同採択することに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

#### ○副会長

挙手全員でございます。それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、英語については、光村図書を山城地区として共同採択するものといたします。

続きまして、特別の教科、道徳の教科用図書の採択を行います。

特別の教科、道徳の代表調査員の入室をお願いいたします。

(代表調査員 入室)

#### ○副会長

代表調査員におかれましては、この間、調査研究の取りまとめに御尽力いただきありがとうございます。

それでは、調査研究の結果について報告をお願いいたします。

#### ○代表調査員

特別の教科、道徳でございます。それでは、報告させていただきます。

今回ですけれども、7社の教科書について調査をいたしました。各社の特徴の前に、全体的に共通しているところですので、どちらの教科書もユニバーサルデザインのフォント等が利用されておりまして、非常に見やすくなっているなど感じております。

また、二次元コード等も多数用意されておりまして、教材以外のところからも子どもたちが考えられるようなものがたくさんつけられているなど感じております。

また、イラストや、漫画形式等も取り入れて、写真や、すぐ取り組みやすいような内容に工夫がされているなど感じております。

また、各社内容としては、いじめやSDGs、また情報モラル等の現在的な課題について重点的に取り扱われているかなというように感じました。ただ、そういったものの取扱方についてはそれぞれ特徴がございますので、各社の報告の中で触れさせていただきたいなというふうに思います。

では、報告書に沿って順番にさせていただきます。

まず、東京書籍です。

東京書籍につきましては、教材ごとに4つの視点が示されておりまして、色分けして区別されています。4つの視点は自分自身に関すること、他の人との関わり、集団・社会との関わり、生命や自然・崇高なものとの関わりです。

教材ごとに学習テーマが設定されておりまして、そちらを導入として活用できるのかなというふうに思います。

また、「考えよう」や「見つめよう」という項目が設定されており、さらに「ぐっと深

める」という項目から、さらに考えを深めていくような追加の補助発問等が設定されています。

また、付録として心情円というものがついておりまして、それを使ってそれぞれの考え方、それぞれの気持ちを円を使って表すというような工夫がされています。

また、「Plus」という項目が設けられており、視点を変えて考えたり、ロールプレイ等に取り組めるコラムが準備されています。

東京書籍については、いじめや命を題材にしたものを重点的に扱っており、連続して配置されていることから、いろいろな考え方、いろいろな視点から考えられるように工夫されています。また、見開きのイラストでは、いじめに当たる行為はどのようなものかを選ぶものや、コラム、漫画形式等でいじめについて考えるというような工夫がされておりました。

次に、教育出版です。

教育出版については、それぞれの教材の冒頭部分に導入の問いが設定されており、その問いから教材について考えるきっかけ、導入部分に使えるのかなと考えられます。

また、その教材を通してどのような道徳的価値を考えるのかというような意識づけにもなる工夫のかなというふうに感じております。

それぞれの教材の最後には、「学びの道しるべ」という追加の発問が用意されており、教材を通して考えたことをさらに深めていくことができます。

また、「ひろば」というタイトルでさらに学びを深められるコラムも設定されています。

各学年に3か所、「やってみよう」という絵が設定されており、こちらもロールプレイ、役割演技や話し合い活動等に取り組めるような工夫がなされています。

こちらの教科書につきましては、重点的に扱ういじめ等の人権課題等についてはユニットという構成をしていて、連続して取り組めるようになっております。

続きまして、光村図書です。

光村図書については、道徳的な視点を明確にして学習に取り組めるように、テーマ別に複数の教材をユニット化して配置されています。

また、教材の最後には、「見方を変えて」という発問が設定されており、教材を通して考えた考え方から、また違う考え方をする、多面的・多角的に考えることができる工夫がなされています。

また、周りのテーマや発問が「考えよう」という項目の下、教材の冒頭や最後に掲載されているので、生徒自身が何を学ぶのかを意識することができる工夫かなというふうに感じています。

こちらの教科書では、情報モラルや環境、いじめ問題、人権を重点的に扱い、こちらもユニットとしてまとめて構成されています。特に人権に関しては、人権週間に合わせて取り組むことができるような配置となっていました。

また、付録として、巻末に「まなびの道具箱」とついており、こちらでは思考ツール等

が紹介されております。

次に、日本文教出版です。

こちらには、教科書本編に別冊「道徳ノート」が附属しています。「道徳ノート」については、各教材の振り返り、まとめ等を行うことができるように設定されています。

また、教科書についている二次元コードを読み込むことで、心情メーターやシンキングツールを活用して、自らの考え、気持ちを整理して深められるような工夫がされています。

こちらは教材とコラムを組み合わせでユニットが構成されています。教材ごとに「考えてみよう」というタイトルや「自分にプラスワン」が設定されており、話し合い活動、対話活動等を通じて考えを深めて、自らの生き方につなげていくことができる、こうした工夫がされています。

また、それぞれ教材に「学びのキーワード」があり、道徳的価値を深められる工夫がされています。

こちらも、重点的に扱うものについてはユニットとして、幾つかの教材をまとめて構成されていて、考えを深めていける工夫がされています。

続いて、2枚目になります。学研出版です。

学研出版も、4つの視点ごとに教材がまとめられて色分けして区別されています。教材ごとに「考えよう」という項目が設定されており、自分自身について振り返ることができるように工夫がされています。

また、教材には、それぞれのタイトルとは別に、その教材について考える際のヒントになるようなキーフレーズが示されています。

こちらの教科書も、重点的に扱うテーマについては複数の教材をユニットとして配置されています。

また、現代的課題のマークというものが掲載されており、他の教材と関連して学ぶことができるようになっています。

巻頭に考えを深める4つのステップとして、「見つけよう」、「考えよう」、「話し合おう」、「生き方につなげよう」が示されていて、どのように学習していけばいいのか、学習の流れをつかむことができる工夫がされています。この流れを使って、教材の後に、深めようという項目が設定されています。

次に、あかつき教育図書です。

こちらでは、教材ごとに4つの視点が示されています。教材の中には、導入用の動画や終末で使用するような動画が用意されていて、教材理解や考えを深めることができる工夫がなされています。

「自主、自律、自由と責任」、「思いやり、感謝」、「生命の尊さ」、「よりよく生きる喜び」、この4つを重点項目として研究して、各学年でそれぞれ3時間分ずつの教材が配当されています。

それぞれの教材では、最後に3つの視点から発問が用意されており、多面的・多角的に

考えることができる工夫がなされています。

また、「Thinking」というタイトルのコラムがあり、教材で学んだことをさらに広げていくことができるよう設定されています。

また、各学年に、3か所「マイ プラス」が設定されていて、主体的・対話的に取り組むことができる工夫がされています。

こちら重点的な課題についてはユニットとして構成され、連続して複数の教材に取り組めるようになっています。

最後に、日本教科書です。

日本教科書については、タイトル部分が色分けされていて、読み物教材とコラムとを組み合わせて学習できるように構成されています。

それぞれの教材では、「考えよう」や「深めよう」という追加発問が設定されており、深い学びを促すような工夫がなされています。

こちらの教科書では、伝統や文化、郷土について学習できる内容が多く設定されています。

また、重点的にSNS関連やいじめについても多く取り扱われています。

こちらには、付録として「ウェルビーイングカード」が附属しており、生徒自身がどのような価値を大事にしているのか、これを意識して生徒同士で対話し、話し合うことができる工夫がなされています。

以上、報告書に沿って報告させていただきました。以上です。

## ○副会長

報告ありがとうございました。ただいまの代表調査員の報告について御質問はございますか。

## ○採択委員

特別の教科、道徳ということで平成31年に教科書が採択され、それから6年間、あかつき教育図書を使用してきたわけです。この間、日本でいろいろなことがあって、年号が変わったり、またコロナがあったり、その中でオリンピックがあったりと、道徳的な中身が色濃くあったのかなと思っています。

そういう中で、この6年間使用してきた、あかつき教育図書を使用してきたメリット、またデメリットについて、先生の感じたままに結構でございますので、教えてもらえたらありがたいです。

## ○代表調査員

今御質問いただいたところまで、正直会議の中で話し合えてはいないかなと思います。

ただ、今回、教科として道徳に取り組むことで、以前の教科書ではない、教科ではない時代から、現在使用している教科書に替わったことで、ものすごく、授業そのものの在り方は当然ですけれども、意識しながら取り組むようになったかなということは調査員が会議で話をしておりました。

今回の新たな教科書を見る中でも、やはりこれまでやってきた副読本というか、教科になる前のものとは大きく変わって、どの教科書もやはり現在の課題や、それこそ、先ほどおっしゃったような、コロナのこと、オリンピックもそうですけれども、様々なことなどの教科書でも教材として扱われています。そうした中で、このあかつき教育図書を使ってきたことのメリット、お答えになるかどうかは分かりませんが、今回、これまで使ってきたものと比べて、どの教科書についても、読み物教材とそれ以外のコラムや附属の補助教材などが物すごく充実してきていて、これまで使っていたものに比べると、どうしても読み物が多かったところから変化があってよいのかなという意見が出ておりました。あかつき教育図書を使ってきたことに関してということは、なかなか話としては出ませんでした。

#### ○採択委員

あと、2つ、この山城管内は教師が若返ってきていますので、教師になってすぐ担任として道徳を教えたり、または学年全体を集めて教えたり、または順番制で順番に道徳を教えたり、また、評価となった、評価には大分苦しまれたのではないかなと思っています。

そういう面で、いろいろな人が教えていく中で、また、評価しなければならないことで大切なことは何だったのか、これもまた、調査員会議では出てきていない中身かと思いますが、先生の考えるところで結構ですので、よろしくお願いします。

#### ○代表調査員

こちら調査員会議では正直触れられていない部分であるかなと思いますけれども、恐らく多くの学校で、以前のように担任だけがそのクラスの道徳を担当するのではなく、おっしゃったように輪番や、全校体制で、例えば我々も学年に入って、クラスに入って道徳の授業をさせていただくような場面があるのかなというふうに考えています。

道徳そのものの特徴というか、特性から考えても、やはり様々な年代、様々な立場、様々な経験をしている者が、いろいろな教材を用いていろいろな考え方を伝えていくことができるという意味では、今のような体制で取り組めることが、物すごくプラスになっているのかなと私個人は感じております。ただし、そうした中で評価に結びつけていくという意味では、やはり、それぞれが授業をしていく中で、一定の共通理解、共通認識を持って、例えば生徒それぞれに振り返りや、感じたことを書かせるということは、一定共通して使っていくような形は取っていかないと、本当にばらばらの評価になってしまうのかなというも私は感じているところです。

#### ○採択委員

私からは最後ですが、山城管内には、いろいろな地域性を持っているところがあります。それぞれが道徳を進める中で、地域教材や、オリンピックなどを取り込むことのやりやすさというか、どの教科書がやりやすいと感じられますか。

#### ○代表調査員

地域との関わりや、それぞれの細かい地域ではなくて、日本の伝統や、日本という幅広

い範囲での地域ということだと思いますと、どの教科書も意識的に盛り込んでいるのかなと感じています。

また、日本の地域に関わっているだけではなくて、それぞれの地域での伝統であったり、文化であったりということについても、各教科書は比較的深く扱っているのかなというふうには感じているところです。

どちらのということとはなかなか、そこだけでは難しい部分もあるなという話は、会議の中では出てはきましたけれども、比較的どの教科書についても多く扱われているところですし、質問されていることにお答えができなくて申し訳ないですけれども、日本教科書は特に多く扱っていたりはそののかなというふうには感じています。

ただ、先ほども申しましたとおり、この地域や伝統文化については、それぞれ巻末等で凡例が示されるなど、どの出版社についても重要な項目として作られているのかなと感じております。

#### ○副会長

他に御質問ありますか。

#### ○採択委員

特別な教科 道徳に直接関係がないかもしれないが、最後の教科書ということで、ここでもしか言えないのかなと思ったので、ちょっと諦めて聞いてください。

表記・表現の工夫のところ、A B判、B 5判、B 5変形判とあります。他の教科もA 4とかA B判、いろいろなサイズがある。それから、UDフォントを使っている、カラーUDに配慮しているとは書いてありますが、私の感覚でいうと、教科書のサイズが変わるということは物すごく配慮に欠ける、いらいらする。全てがデジタル教科書でタブレット端末に入れば解決されるとは思いますが、これだけいろいろなサイズがあると、特性がある場合、物すごく気になる生徒はいると思います。私が生徒であれば、毎日いらいらする。我々のときは、教科書のサイズが一緒でしたからこういうことはありませんでしたが、こういうことについては、道徳に限らず、話題にならないのでしょうか。

#### ○代表調査員

道徳の調査員会議でも、「なぜこんなに大きさが違うのか」ということは、やはり話題になりました。

現在、他の教科の教科書全てについてサイズを把握しているわけではないですけれども、やはりA判が多いような印象がある中、変形判で少し横に飛び出してしまったり、それこそ大きさがばらばらであるということについては、我々が調査をする中でも、取り扱いにくいという話題にはなりましたし、実際、学校現場でも、例えば教室で机や、ロッカーの中に整理する時に、きちんと整頓された状態にならないということは話題にはなりますが、なかなかその辺かなというところにまで話は発展しておりませんが、実際に今回調査の中でも、「なぜサイズがばらばらなのか」という疑問は出てきました。

#### ○採択委員

先ほどの説明の中で、道徳の教科書はかなり教科書会社によって違いが明確なのかなと感じていて、なかなか絞り切れないところもあるのかなと思っていますが、2点お願いします。

1点目は、あかつき教育図書だけが重点項目として、特に取り上げて各項目3時間分、これを特に重点的に取り上げていると報告されていますが、この重点項目というものが、山城の子どもたちにとってどういう意味があるのか、また、重点化することは大切なことなのかどうか、教えてください。

それから、2点目ですが、これも前回もこういう話があったかなと思いますが、報告書の中で、発問が教科書に書いてある教科書と書いてない教科書があります。先ほども、あかつき教育図書の場合は教材の最後に3つの視点からの発問が用意されていると報告されています。教材の後ろに発問があることと教材の前に発問がある、この辺りの現場での柔軟性など、そういうことも含めて、お聞かせいただければと思います。

### ○代表調査員

重点項目ということで先ほど説明させていただいた内容ですけれども、これは今おっしゃったように、山城地域ということはもちろんですが、やはり中学生、子どもたちにとって必要な項目であるかなと感じております。

こういう形で、明確な設定という記載ではないですが、他の教科書の出版社についてもやはり同じように、ここは重要であるというふうに捉えているのかなと調査で感じました。

2つ目、発問の部分ですけれども、これも授業の展開等にも関わってくるのかなというふうに思いますが、初めから発問が書かれているものや、導入の発問が期待されているものがあるという違い、また最後にまとめて発問がなされているという違いがあるかなと思います。感覚的には今回の調査での話としては、やはり初めからいろいろなことが明らかになっている、明確になっている部分が多い状況で授業を進めていくよりも、後半、最後に発問があったり、例えば発問ではないですが、内容項目そのものが初めに提示されているような教科書もあります。そうすることで、子どもたちが、「このことを考えたらいいなんだな」と限定的な考え方で授業に臨んでしまうこともあるのではないかという意見が出ておりました。こうしたところから考えますと、やはり初めに一定の方向性が示されることは子どもたちへの意識づけとしては大切なのかなという話もありましたが、ただ限定されてしまうような、明確になり過ぎているものではなく、大枠があって、後半に発問や考え方のヒントになるようなフレーズが示されているほうが扱いやすいのかなということは調査員の話に出てきました。

### ○副会長

他に御質問にございますか。御質問等もないようですので、ここで代表調査員には一旦御退席いただきます。また必要があれば再度入室いただきますので、よろしく願いいたします。

(代表調査員 退室)

### ○副会長

それでは、特別の教科、道徳について協議させていただきます。御意見等ございませんでしょうか。

### ○採択委員

6年間やってきて、先ほども評価の部分で、これも深めていかなければならないというように感じました。ですので、次もあかつきで、ある程度、道徳というものの指導の在り方というのを固めてから、次のときにどういう形がいいのか、最後の評価のところまでしっかりと指導してもらってからという方がいいのではないかと思い、あかつき教育図書を推薦したいと思います。以上です。

### ○副会長

ありがとうございます。他に御意見ございますか。

### ○採択委員

私自身は読み物教材という場合に、自分事としてこの教材を捉えることができるかということ視点を考えました。あかつき教育図書については、非常に内容に引きつけられて、自分だったらどうするだろうということを常に考えられる、突きつけられる内容だったので、あかつき教育図書がよいと思いました。

一方、授業の在り方でいえば、例えばロールプレイや役割演技という話がありましたが、思春期の中学生にそれは可能なのかどうかというあたりも含めて考えた場合、読み物として自分事と捉える、そういう中身の教材がよいと思いました。以上です。

### ○副会長

ありがとうございます。他に御意見ございますか。

### ○採択委員

私もあかつきがよいと思っていますが、読み物教材を理解させるのに結構時間がかかって、聞いているだけで、道徳なのか国語なのか、よく分からない授業も実は散見されるのではないかなと思っています。その点で、あかつき教育図書の教科書であれば、調査報告書にさらっと書いてありますが、導入用の動画や終末用の動画が用意されており、教材理解や考えを深めるための工夫がされている。つまり、お話を理解するためにそういう動画がある程度あるというのは、理解を助けますし、その分、道徳の本質の部分に迫れるような工夫がされているのではないかなというふうに感じていますので、あかつき教育図書でよいのではないかと感じています。

### ○副会長

ありがとうございます。他に御意見ございますか。

御意見はないようでありますので、それでは、特別の教科、道徳についてはあかつき教育図書がよいのではないか、という御意見ございました。

つきましては、あかつき教育図書でお諮りしたいと思います。よろしいでしょうか。それでは、特別の教科、道徳につきましては、あかつき教育図書を共同採択することに

賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

### ○副会長

挙手全員でございます。

それでは、全員一致して御賛同いただきましたので、特別の教科、道徳については、あかつき教育図書を山城地区として共同採択するものといたします。

これで私の役目を終わらせていただきます。ありがとうございました。

### ○会長

それでは、奥村副会長、川村副会長、進行ありがとうございました。

本日の協議日程は全て終了いたしました。

まず、ここで、事務局に協議結果の確認をお願いしたいと思います。

### ○事務局

それでは、本日御協議いただきました結果につきまして、教科ごとに教科書の発行者を読み上げさせていただきますと思います。

まず、国語は光村図書でございます。次に、書写も光村図書でございます。

社会、まず地理的分野でございますが、帝国書院、次に、歴史的分野でございますが、帝国書院、公民的分野は帝国書院、地図も帝国書院でございます。

数学でございますが、啓林館。

次に、理科でございますが、啓林館でございます。

音楽、一般が教育芸術社、器楽も教育芸術社でございます。

次に、美術でございますが、光村図書でございます。

保健体育でございますが、東京書籍。

技術・家庭の技術分野でございますが、東京書籍、家庭分野も東京書籍でございます。

英語は光村図書。

最後の道徳があかつき教育図書でございます。以上でございます。

### ○会長

協議結果は以上のとおりです。

何か御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

特にないようでございますので、令和7年度以降に使用する中学校教科用図書の採択協議については終了いたします。

引き続きまして、事務局から連絡がありますので、よろしく申し上げます。

### ○事務局

先ほど読み上げました教科書採択に係る協議結果につきましては、後日、正式に各市町、広域連合の教育委員会、教育長宛てにお知らせします。

この後、各市町、広域連合の教育委員会におきましては、教科書採択について議決をいただくこととなりますが、議決されましたら事務局に採択終了の旨、御連絡をお願いした

いと考えております。こちらにつきましても、事務連絡を発出し、お願いをさせていただくところでございます。

次、3点目でございますけれども、教科書採択に係ります情報公開につきましては、第1回採択地区協議会でも御説明しましたとおり、山城地区において同一の教科書を採択することとなっておりますため、採択期限である8月31日までは非公開としていただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いたします。

また、情報公開について、1点御説明をさせていただきます。

昨年度の事務局からも提案がありましたように、9月1日以降に事務局の教育委員会がホームページに資料を掲載し、公表していきたいと考えております。

ホームページで公表する資料でございますけれども、協議会の規約、それから本日使用いたしました教科用図書の調査報告書、協議会の議事録、それから協議結果の一覧、この4点を公表していきたいと考えております。

今年ですと事務局である宇治市のホームページでまずこの4点を掲載いたします。他の教育委員会につきましては、宇治市の該当のURLをお知らせしますので、それぞれの教育委員会のホームページにリンクを貼っていただき、宇治市のホームページに移動できるよう、御協力をお願いしたいと考えておりますので、御対応をお願いいたします。

また、この4点以外につきましては、ホームページには掲載をいたしませんので、こちらの資料の情報公開請求につきましては、従前どおり、各市町、広域連合の教育委員会様において御対応は引き続きお願いしたいということで考えております。以上でございます。

## ○会長

ただいまの説明につきまして御質問、御意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、先ほども説明がありましたとおり、事務局としましては、8月31日までは、それぞれの市町、広域連合教育委員会の採択に影響を与えないように非公開にしたいと思っておりますので、その辺り、十分配慮をお願いしたいと思います。

また、9月1日以降にホームページで資料の公表を行うこととなりますので、そちらの御協力もよろしくお願いたします。

拙い進行で大変申し訳なかったですけど、御協力いただきましてありがとうございました。

以上をもちまして、本日の議事を終了したいと思います。

## ○事務局

皆様、ありがとうございました。

それでは、閉会に当たりまして、川村副会長に御挨拶をお願いいたします。

## ○副会長

本日は大変御苦労さまでございました。

令和7年度以降に使用する中学校教科用図書について御協議いただき、山城地区におい

て共同採択する教科書を決定いただいたところでございます。

代表調査員の調査研究報告書を活用し、本日御協議いただいたところでありますけれども、山城地区の児童生徒にとって最も適切な教科用図書を選ぶことができたと考えております。

教科書の採択権者は市町、広域連合教育委員会でありまして、本日の協議結果を踏まえ、今後、採択の議決を行っていただき、採択権者としての責任を果たしていく必要がございますので、よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、閉会の御挨拶といたします。本日はありがとうございました。

**○事務局**     ありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第2回山城教科用図書採択地区協議会を閉会といたします。本日はありがとうございました。

**閉会   午後4時40分**